

令和4年度

(対象年度：令和3年度)

東浦町教育委員会事務点検・評価報告書

令和4年10月

東浦町教育委員会

— 目 次 —

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 頁
------------------------------	-----

第1章 教育委員会の事務点検・評価

1 主な事業の取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・	2 頁～
-----------------------------	------

◎ 学校教育課

(1) 教育委員会一般管理事業・・・・・・・・	2 頁
(2) 教育委員会事務局事業・・・・・・・・	3 頁
(3) 義務教育振興一般管理事業・・・・・・・・	4 頁
(4) 学校生活支援事業・・・・・・・・	6 頁
(5) 小学校一般管理事業・・・・・・・・	8 頁
(6) 小学校施設整備事業・・・・・・・・	9 頁
(7) 小学校維持点検事業・・・・・・・・	10 頁
(8) 小学校教育振興事業・・・・・・・・	11 頁
(9) 中学校一般管理事業・・・・・・・・	13 頁
(10) 中学校施設整備事業・・・・・・・・	14 頁
(11) 中学校維持点検事業・・・・・・・・	15 頁
(12) 中学校教育振興事業・・・・・・・・	16 頁
(13) 給食センター運営事業・・・・・・・・	18 頁
(14) 給食センター維持管理事業・・・・・・・・	19 頁

◎ 生涯学習課

(15) 社会教育委員事業・・・・・・・・	20 頁
(16) 社会教育一般管理事業・・・・・・・・	21 頁
(17) 青少年教育事業・・・・・・・・	23 頁
(18) 文化芸術活動推進事業・・・・・・・・	25 頁
(19) 文化センター事業・・・・・・・・	27 頁
(20) 文化センター施設整備事業・・・・・・・・	28 頁
(21) 文化センター維持管理事業・・・・・・・・	29 頁
(22) 地区コミュニティセンター等事業・・・・・・・・	30 頁
(23) 地区コミュニティセンター等施設整備事業・・・・・・・・	31 頁
(24) 地区コミュニティセンター等維持管理事業・・・・・・・・	32 頁
(25) 中央図書館運営事業・・・・・・・・	33 頁
(26) 中央図書館管理事業・・・・・・・・	35 頁
(27) 文化財保護事業・・・・・・・・	37 頁
(28) 天白遺跡事業・・・・・・・・	39 頁

(29) 郷土資料館事業	40 頁
(30) 郷土資料館管理事業	42 頁
◎ スポーツ課	
(31) 社会体育一般事業	43 頁
(32) スポーツ推進委員事業	44 頁
(33) 生涯スポーツ振興事業	45 頁
(34) 体育館・はなのき会館管理事業	47 頁
(35) 学校体育館施設スポーツ開放事業	48 頁
(36) グラウンド・コート管理事業	49 頁
(37) ふれあいセンター管理運営事業	50 頁
2 教育委員会の活動状況	51 頁
第2章 教育委員会事務点検・評価会議での意見	52 頁

はじめに

各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することになっています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和3年度の教育委員会の点検及び評価をまとめ、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	54	頁	
	施策	2 学校教育			取組	1 学校教育の充実						
事業名		教育委員会一般管理事業				SDGs	4、5、17					
担当課		教育部 学校教育課 庶務係										
目的	誰を・何を(対象)	教育委員会										
	どのようにしたいか(意図)	教育委員会の会議を円滑に運営することで、教育委員会が適正に機能するようにします。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		1,346			1,356 101%			1,443 106%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	1,346			1,356 101%			1,443 106%				
職員数(人)		0.33			0.33 100%			0.33 100%				
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		教育委員会(定例会、臨時会)開催数									回	
		13	-	0	13	-	0	13	-	0		
指標②		教育総合会議開催数									回	
		1	-	0	1	-	0	1	-	0		
主な事業内容		教育委員会の会議、総合教育会議の開催										
成果		法令に基づき、教育委員会定例会を月1回、臨時会を1回、総合教育会議を1回開催することで、教育委員会が適正に機能しています。 教育委員会 2019(R1) 議案47件、承認40件、不承認7件 2020(R2) 議案35件、承認33件、不承認2件 2021(R3) 議案39件、承認38件、不承認1件										
課題		資質向上のため視察研修を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、視察研修が行われていません。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性				A
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充				今後も教育委員会の適切な運用に努めます。							
	現状維持			○								
	縮小											
	休止											
		削減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁
	施策	2 学校教育	取組	1 学校教育の充実			

事業名		教育委員会事務局事業				SDGs	4、5、17				
担当課		教育部 学校教育課 庶務係 学校教育係									
目的	誰を・何を(対象)	教育委員会									
	どのようにしたいか(意図)	教育委員会事務局を円滑に運営することで、教育委員会が適正に機能するようにします。									
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		10,739			10,292 96%		8,539 83%				
財源内訳	国・県支出金	8			8 100%		0 0%				
	受益者負担	0			0 0		0 0				
	その他特定財源	1,786			1,784 100%		9 1%				
	一般財源	8,945			8,500 95%		8,530 100%				
職員数(人)		0.44			0.52 118%		0.52 100%				
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-			-			-			
				0			0			0	
指標②		-			-			-			
				0			0			0	
主な事業内容		教育委員会の運営に係る会計年度任用職員報酬、各種協議会等負担金などの支払い									
成果		教育委員会事務局の庶務的業務を円滑に行うことにより、教育委員会が適正に機能しています。									
課題		特になし									

評価視点										総合評価			
必要性			有効性				効率性			A A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の後討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討			
		○				○						○	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等									
成果の方向性	拡充				今後も必要に応じて事務を確認、整理し、適切な処理を行いながら、引き続き教育委員会事務局の円滑な運営に努めます。								
	現状維持			○									
	縮小												
	休廃止												
		皆減	縮小	現状維持	拡大								
		コスト投入の方向性											

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁						
	施策	2 学校教育	取組	1 学校教育の充実									
事業名		義務教育振興一般管理事業		SDGs	4, 5, 17								
担当課		教育部 学校教育課 学校教育係											
目的	誰を・何を(対象)	小中学校児童生徒											
	どのようにしたいか(意図)	児童生徒を楽しく学校に通わせ、健やかな心と体を育み、学力の向上を図ります。											
財源内訳	事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額	2021(R3) 年度決算額	対前年比(%)	2022(R4) 年度予算額	対前年比(%)							
		80,002	86,755	108%	103,198	119%							
	国・県支出金	8,483	6,978	82%	6,354	91%							
	受益者負担	142	132	93%	132	100%							
	その他特定財源	0	0	0	0	0							
	一般財源	71,377	79,645	112%	96,712	121%							
	職員数(人)	2.02	1.90	94%	1.78	94%							
主な事業実績(評価指標)	2019(R1)		2020(R2)		2021(R3)		単位						
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		実績値	目標値	達成率			
指標①	教科等特別指導員の配置人数(各小学校1名)									人			
	7	7	100%	7	7	100%	7	7	100%				
指標②	アフタースクール指導員等の配置人数(コーディネーター2名、指導員7名、補助員3名)									人			
	11	11	100%	11	11	100%	12	12	100%				
主な事業内容		・外国語指導助手(ALT)の配置事業 ・アフタースクール事業 ・学生ボランティア事業 ・教科等特別指導員の配置事業 ・学校経営活性化事業 ・小中学校運営事業											
成果		・外国語指導助手(ALT)の配置事業においては、英語を母国語とする指導助手(ALT)を学校に派遣し、児童生徒が生きた外国語を学ぶとともに、国際理解を図りました。小学校については、7校で年320日間、中学校については、3校で年168日間、ALTを派遣しました。 ・教科等特別指導員の配置事業においては、予定していた配置人数を達成でき、主に算数の授業でチーム・ティーチングを行うことで、よりきめ細やかな指導、支援を実施しました。 ・アフタースクール事業においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた地域住民との交流活動はできませんでしたが、子どもの安全な居場所づくり、勉強やスポーツ・文化活動等を例年どおり実践しました。 登録人数: 令和元年度 397人、令和2年度 356人、令和3年度 329人 参加延べ人数: 令和元年度 10,935人、令和2年度 9,502人、令和3年度 8,419人											
課題		・本町では、アフタースクール指導員の資格要件として、教員免許を保有することとしているため、指導員に欠員が発生した場合、迅速に欠員補充することが難しいです。 ・児童生徒への学習支援に対し意欲の高い学生ボランティアを確保するためには、大学訪問や案内通知の送付、学生ボランティアの相談等に多くの時間を割く必要があり、人件費の増加に繋がります。											
評価視点										総合評価			
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		
										A			
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充			○	・アフタースクール指導員に欠員が発生した場合には、迅速な欠員補充のため、ホームページ、広報紙、ハローワーク等を活用します。 ・児童生徒への学習支援に対し意欲の高い学生ボランティアの確保のため、ホームページ、広報紙、SNS、大学訪問等を活用し、周知します。								
	現状維持												
	縮小												
	休廃止												
コスト投入の方向性													
削減					縮小					現状維持		拡大	

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度: 令和 3 年度)

事業名	義務教育振興一般管理事業	担当課	学校教育課 学校教育係
-----	--------------	-----	-------------

No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	外国語指導助手 (ALT)の配置事業	児童生徒	外国語指導助手(ALT)を各小 中学校に派遣して	ネイティブ英語に接する機会を 与えます。	10,560	10,560	現状維持	現状維持
2	アフタースクール事業	小学4年生から6年生までの児 童	放課後に小学校の余裕教室 を活用し地域住民の参画を得 ることで	安全・安心な子どもの活動拠点 (居場所)を設け、地域の方々 の参画を得て、子どもたちに勉 強やスポーツ・文化芸術活動、 地域住民との交流ができるよう にします。	14,646	16,596	現状維持	現状維持
3	学生ボランティア事業	教員志望の大学生及び児童 生徒	学生ボランティアを通常授業 や夏休みの補習授業に派遣し て	・教員志望の大学生の意欲、経 験値を向上させます。 ・授業内容が分からない児童生 徒に個別の学習支援をします。	5,654	7,404	拡充	現状維持
4	教科等特別指導員の 配置事業	児童	教科等特別指導員を小学校 に1名ずつ配置して	算数の授業を始め、一人ひと りの個性を大切に、個に応じた 教育を受けられるようにします。	8,236	8,688	現状維持	現状維持
5	学校経営活性化事業	教職員及び児童生徒	学校経営上必要な事業(必須 事業)及び各学校が企画する 事業(選択事業)に対し事業を 委託して	教育活動及び児童生徒の学校 生活を充実させるとともに、特 色ある学校をつくります。	18,694	23,592	現状維持	現状維持
6	小中学校運営事業	教職員	報酬・報償支払、消耗品購 入、委託、備品購入、負担金 納入等について、遅滞なく執 行して	教育活動を充実させるサポート をするとともに、学校運営をサ ポートします。	28,965	36,358	現状維持	現状維持
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					86,755	103,198	拡充	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁
	施策	2 学校教育	取組	2 いじめ・不登校対策の実施			

事業名	学校生活支援事業	SDGs	4、10、16、17
-----	----------	------	------------

担当課	教育部 学校教育課 学校教育係
-----	-----------------

目的	誰を・何を(対象)	不登校児童生徒及び支援を必要とする児童生徒
	どのようにしたいか(意図)	きめ細やかな指導支援により、不登校の児童生徒を早期に学校に復帰できるようにします。特別な支援を必要とする児童生徒に、きめ細かな個別対応を行うことで、生活の自立や社会参加を促すようにします。

事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額	2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)	2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)
	63,182	66,445 105%	73,960 111%

財源内訳	国・県支出金	4,271	1,998 47%	800 40%
	受益者負担	0	0 0	0 0
	その他特定財源	0	0 0	0 0
	一般財源	58,911	64,447 109%	73,160 114%

職員数(人)	0.76	0.68 89%	0.65 96%
--------	------	----------	----------

主な事業実績(評価指標)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	単位
	実績値 目標値 達成率	実績値 目標値 達成率	実績値 目標値 達成率	

指標①	適応指導教室(不登校児童生徒が在籍)の指導員の配置人数	人
	4 4 100% 4 4 100% 4 4 100%	

指標②	支援を必要とする児童生徒に対する支援員の配置人数	人
	33 48 69% 36 48 75% 38 48 79%	

主な事業内容	・適応指導教室(不登校児童生徒が在籍、本町ではふれあい教室と呼ぶ)運営事業 ・こどもと親の相談事業 ・特別支援教育事業 ・小中学校生活支援運営事業
--------	--

成果	・適応指導教室(ふれあい教室)には、月平均7.73人が在籍し、学習支援及び生活指導を実施しました。 ・こどもと親の相談窓口は、平成28年度から相談受付時間を1時間延長し、現在は、平日午前9時から午後5時まで相談を受け付けています。毎年度実施するチラシ配布、ホームページや広報紙への掲載などの結果、相談件数及び訪問件数は次のとおりでした。 - 相談件数: R1年度 203件、R2年度 160件、R3年度 139件 - 訪問件数: R1年度 23件、R2年度 16件、R3年度 4件
----	---

課題	・通常学級においても個別の支援を必要とする児童生徒数が増加傾向にあります。特別な支援を必要とする児童生徒に対する学校生活支援員の配置人数が減少すると、きめ細かな個別対応が難しくなります。 ・特別な支援を必要とする児童生徒に対応するため、学校生活支援員の人数を増員すると、コストが増加します。
----	--

評価視点												総合評価	
必要性				有効性				効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・廃止を検討 B	
			○				○		○				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		

今後の方向性	事業の改善点・今後の具体的な取組等
成果の方向性	・指導員、支援員の確保のため、ホームページ、広報紙、SNS、ハローワーク等を活用し、周知します。 ・こどもと親の相談事業の周知機会が広がるよう、学校行事やSNS等を利用したPRも進めていきます。 ・特別支援学級または通級指導教室の増級、1学級に在籍する人数の増加など、児童生徒の実態や学級の在籍者数を考慮し、必要に応じて学校生活支援員を増員します。 ・学校生活支援員の増員にあたっては、コストの増加が避けられないため、他事業費の見直しを検討します。
コスト投入の方向性	

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 3 年度)

事業名		担当課			学校教育課 学校教育係			
No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	適応指導教室(ふれあい教室)運営事業	不登校児童生徒	適応指導教室(ふれあい教室)に通わせ、個別や小集団での相談・指導を行うことで	自立を促しながら、集団生活に適応する力を育み、学校への早期復帰を支援します。	10,281	10,618	現状維持	現状維持
2	こどもと親の相談事業	学校生活や家庭生活に問題を抱える子どもまたは親	こどもと親の相談窓口やホットライン電話を活用して	いじめの防止や不登校児童生徒の早期発見・早期解決を図るための学校生活や家庭生活に関する様々な相談を受け、助言をします。	6,360	6,440	現状維持	現状維持
3	特別支援教育事業	特別支援学級に在籍する障がいのある児童生徒及び通常学級に在籍する支援を必要とする児童生徒	学校生活支援員を配置し、きめ細かな個別対応を行うことで	充実した学校生活を送れるよう支援を行うとともに、生活の自立や社会参加を促すようにします。	41,467	47,829	拡充	拡大
4	小中学校生活支援運営事業	・学校生活に悩みを抱える児童生徒 ・教職員	・心の健康相談員を配置し、相談に応じることで ・報酬支払、消耗品購入等について、遅滞なく執行して	・いじめの防止や不登校児童生徒の早期発見・早期解決を図るための学校生活に関する様々な相談を受け、助言をします。 ・事業の円滑な運営をサポートします。	8,337	9,073	現状維持	現状維持
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					66,445	73,960	拡充	拡大

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	54	頁	
	施策	2 学校教育			取組	1 学校教育の充実						
事業名		小学校一般管理事業			SDGs	4、5、17						
担当課		教育部 学校教育課 庶務係 学校教育係										
目的	誰を・何を(対象)	小学校										
	どのようにしたいか(意図)	安全で快適な教育環境を確保することで、児童の確かな学力や健やかな心と体を育みます。										
財源内訳	事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		227,157			178,872 79%			147,814 83%				
	国・県支出金	70,273			7,536 11%			3,469 46%				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	2,450			16 1%			3 19%				
	一般財源	154,434			171,320 111%			144,342 84%				
職員数(人)		0.55			0.58 105%			0.58 100%				
主な事業実績(評価指標)	2019(R1)		2020(R2)			2021(R3)			単位			
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率		
指標①	児童へのタブレット端末配付率								%			
	100	100	100%	100	100	100%	100	100		100%		
指標②	-											
			0			0				0		
主な事業内容		タブレット端末の借上げ 庁用器具備品等の購入 民間屋内プール施設での水泳指導										
成果		タブレット端末を借り上げるにより、国が進めているGIGAスクール構想の推進及び学校の情報化の推進に寄与しました。 庁用器具備品等(IP電話、ロッカー他)の購入をすることにより、備品の拡充、更新が行われ、快適な教育環境を確保することに寄与しました。 藤江小学校、生路小学校、片葩小学校、石浜西小学校及び卯ノ里小学校の5校で、民間屋内プール施設及びインストラクターを活用し、水泳の授業を実施しました。										
課題		タブレット端末を活用した学習指導の充実を図るために、教職員の知識や能力の向上が必要です。										
評価視点								総合評価				
必要性				有効性				効率性				
低い やや低い やや高い 高い				低い やや低い やや高い 高い				低い やや低い やや高い 高い				
○				○				○				
A												
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充							タブレット端末を用いた授業に関する知識や能力の向上を図るため、ヘルプデスクの設置や教職員向けの研修を実施しています。今後は、タブレット端末だけでなく、ICT機器全般のより有効な利用を促進するため、令和5年度以降のICT支援員の導入を検討していきます。				
	現状維持				○			民間屋内プール施設での水泳指導については、実施校を順次拡大し、全小学校で実施できるようにします。				
	縮小											
	廃止											
		削減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	54	頁	
	施策	2 学校教育			取組	6 教育施設の整備						
事業名		小学校施設整備事業				SDGs	4、11、17					
担当課		教育部 学校教育課 庶務係										
目的	誰を・何を(対象)	小学校										
	どのようにしたいか(意図)	児童が安全な場所と感ずることができる教育環境の確保に向け、施設・設備を整備します。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		216,396			127,294 59%			127,365 100%				
財源内訳	国・県支出金	53,183			9,047 17%			37,156 411%				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	101,700			61,800 61%			0 0%				
	一般財源	61,513			56,447 92%			90,209 160%				
職員数(人)		0.63			0.70 111%			0.70 100%				
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		修繕件数									件	
		29	-	0	30	-	0	20	-	0		
指標②		工事件数									件	
		14	-	0	8	-	0	5	-	0		
主な事業内容		・修繕の実施 ・改修、更新工事の実施 ・業務委託の実施										
成果		施設・設備の修繕、改修・更新工事及び監理・設計の業務委託を実施したことにより、安全な場所と感ずることができる教育環境の確保に寄与しました。										
課題		・施設・設備の老朽化が進んでおり、突発的な破損、故障が増えています。 ・施設・設備の老朽化が進んでおり、計画的な施設の改修、更新が必要です。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討 A
			○				○				○	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充							計画的に修繕、改修を実施するため、施設の長寿命化を図りながら、財政負担を平準化させた更新計画に基づいて、5年ごとに見直しをしながら、施設管理を行っていきます。				
	現状維持				○							
	縮小											
	休廃止											
		削減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	54	頁	
	施策	2 学校教育			取組	6 教育施設の整備						
事業名		小学校維持点検事業				SDGs	4、11、17					
担当課		教育部 学校教育課 庶務係										
目的	誰を・何を(対象)	小学校										
	どのようにしたいか(意図)	児童が安全な場所と感じることができる教育環境の確保に向け、施設・設備を維持管理します。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		5,725			6,133 107%			13,865 226%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	5,725			6,133 107%			13,865 226%				
職員数(人)		0.22			0.24 109%			0.24 100%				
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		委託件数									件	
		12	-	0	10	-	0	10	-	0		
指標②		-										
				0			0			0		
主な事業内容		業務委託の実施 プール循環ろ過機保守点検業務、浄化槽保守点検業務、電気設備保守点検業務、小中学校放送設備保守点検業務、給排水衛生機器設備保守点検業務、消防用設備等保守点検業務、給食用ダムウォーター保守点検業務、小中学校遊具及び体育用具施設保守点検業務、防犯等警備業務、エレベーター保守点検業務										
成果		保守点検業務委託を実施することにより、施設・設備の老朽化による劣化や損傷等が早期に発見でき、速やかな修繕に繋げられ、安全な場所と感じることができる教育環境の確保に寄与しました。										
課題		施設・設備の老朽化が進み、点検による不具合が多くなっており、多くの施設・設備で修繕、更新が必要となっています。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性				
○				○				○				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
A												
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充				施設、設備の適期点検により、不具合を早期に発見し対応することで、円滑な学校運営、児童等の安全確保を行います。 なお、令和4年度予算については、令和3年度予算の一般管理費から組み替えた事業があるため増加しています。							
	現状維持			○								
	縮小											
	休止											
コスト投入の方向性												
削減 縮小 現状維持 拡大												

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり		項	1 次世代育成		掲載	54	頁		
	施策	2 学校教育		取組	1 学校教育の充実						
事業名		小学校教育振興事業			SDGs	4、5、17					
担当課		教育部 学校教育課 学校教育係									
目的	誰を・何を(対象)	児童									
	どのようにしたいか(意図)	児童が、学習指導要領に応じた教育を受けることができ、確かな学力や健やかな心と体を育んでいけるようにします。									
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額		対前年比(%)			
		118,679		84,276 71%		120,725		143%			
財源内訳	国・県支出金	25,943		10,072 39%		908		9%			
	受益者負担	0		0 0		0		0			
	その他特定財源	0		0 0		0		0			
	一般財源	92,736		74,204 80%		119,817		161%			
職員数(人)		1.00		0.98 98%		0.97		99%			
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		就学援助事業対象児童数(新入学用品費を入学前に支給した新小学1年生を含む)									人
		289	-	0	280	-	0	313	-	0	
指標②		特別支援教育就学奨励事業対象児童数									人
		54	-	0	62	-	0	67	-	0	
主な事業内容		・小学校運営(消耗品購入、修繕、バス借上、各種教材・図書の購入等)事業 ・小学校就学援助(学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助)事業 ・小学校特別支援教育就学奨励(学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助)事業									
成果		・小学校就学援助事業においては、経済的な支援を必要とする児童の保護者に対し、学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を実施し、経済的理由により就学困難な児童への教育の機会均等を図りました。 ・小学校特別支援教育就学奨励事業においては、特別支援学級への就学の事情を考慮し、その児童の保護者の経済的負担を軽減するため、学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を実施し、特別支援教育の普及奨励を図りました。									
課題		・各種教材、図書等の購入は、経常的にコストがかかります。各種教材、図書等を充実させるには、コストが増加します。 ・小学校就学援助事業の判定要件(所得)、認定基準、援助費目について、社会経済情勢の変動が著しい今般、より実情に即した援助となっていることを常に確認しなければなりません。									
評価視点										総合評価	
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・廃止を検討		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
			○				○				○
A											
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充				・理科の実験器具は、文部科学省からの補助金を活用して、計画的な購入を進めており、引き続き、計画的な購入、更新に努めます。 ・小学校就学援助事業について、他市町村の動向を参考にしながら、必要に応じて判定要件(所得)、認定基準、援助費目等の見直しを行います。						
	現状維持			○							
	縮小										
	廃止										
コスト投入の方向性											
削減					縮小 現状維持 拡大						

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 3 年度)

事業名	小学校教育振興事業	担当課	学校教育課 学校教育係
-----	-----------	-----	-------------

No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	小学校運営事業	教職員及び児童	報酬支払、消耗品購入、修繕、バス借上、各種教材・図書 の購入等について、遅滞なく 執行して	教育活動及び児童の学校生活 を充実させます。	63,527	99,576	現状維持	現状維持
2	小学校就学援助事業	経済的な支援を必要とする児童 の保護者	学用品費、学校給食費、修学 旅行費等の援助を実施して	経済的理由により就学困難な 児童への教育の機会均等を図 ります。	18,652	18,573	現状維持	現状維持
3	小学校特別支援教育 就学奨励事業	特別支援学級に在籍する児童 の保護者	学用品費、学校給食費、修学 旅行費等の援助を実施して	特別支援教育の普及奨励を図 ります。	2,097	2,576	現状維持	現状維持
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					84,276	120,725	現状維持	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁				
	施策	2 学校教育	取組	1 学校教育の充実							
事業名		中学校一般管理事業		SDGs	4、5、17						
担当課		教育部 学校教育課 庶務係 学校教育係									
目的	誰を・何を(対象)	中学校									
	どのようにしたいか(意図)	安全で快適な教育環境を確保することで、生徒の確かな学力や健やかな心と体を育みます。									
財源内訳	事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)					
		103,812		71,508 69%		49,870 70%					
	国・県支出金	37,187		3,272 9%		287 9%					
	受益者負担	0		0 0		0 0					
	その他特定財源	150		1 1%		1 100%					
	一般財源	66,475		68,235 103%		49,582 73%					
	職員数(人)	0.42		0.58 138%		0.58 100%					
主な事業実績(評価指標)	2019(R1)		2020(R2)			2021(R3)			単位		
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率	
指標①	生徒へのタブレット端末配付率									%	
	100	100	100%	100	100	100%	100	100	100%		
指標②	-										
			0			0			0		
主な事業内容		タブレット端末の借上げ 庁用器具備品等の購入									
成果		タブレット端末を借り上げるにより、国が進めているGIGAスクール構想の推進及び学校の情報化の推進に寄与しました。 庁用器具備品等(保健用品、テント他)の購入をすることにより、備品の拡充、更新が行われ、快適な教育環境を確保することに寄与しました。									
課題		・タブレット端末を活用した学習指導の充実を図るために、教職員の知識や能力の向上が必要です。 ・安全で快適な教育環境を確保するには、学校に必要な備品の整備が必要です。									
評価視点										総合評価	
必要性				有効性			効率性			A A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休止を検討	
			○				○				○
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い		やや高い
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充					タブレット端末を用いた授業に関する知識や能力の向上を図るため、ヘルプデスクの設置や教職員向けの研修を実施しています。今後は、タブレット端末だけでなく、ICT機器全般のより有効な利用を促進するため、ICT支援員の導入を検討していきます。					
	現状維持			○							
	縮小										
	休止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性					

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	1 次世代育成			掲載	54	頁
	施策	2 学校教育			取組	6 教育施設の整備					
事業名		中学校施設整備事業			SDGs	4、11、17					
担当課		教育部 学校教育課 庶務係									
目的	誰を・何を(対象)	中学校									
	どのようにしたいか(意図)	生徒が安全な場所と感じることができる教育環境の確保に向け、施設・設備を整備します。									
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)			
		59,097			22,491 38%			141,972 631%			
財源内訳	国・県支出金	22,453			3,859 17%			44,608 1156%			
	受益者負担	0			0 0			0 0			
	その他特定財源	28,100			0 0%			0 0			
	一般財源	8,544			18,632 218%			97,364 523%			
職員数(人)		0.59			0.66 112%			0.66 100%			
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		修繕件数									件
		21	-	0	21	-	0	14	-	0	
指標②		工事件数									件
		6	-	0	10	-	0	2	-	0	
主な事業内容		・修繕の実施 ・改修、更新工事の実施 ・業務委託の実施									
成果		施設・設備の修繕、改修・更新工事及び監理・設計の業務委託を実施したことにより、安全な場所と感じることができる教育環境の確保に寄与しました。									
課題		・施設・設備の老朽化が進んでおり、突発的な破損、故障が増えています。 ・施設・設備の老朽化が進んでおり、計画的な施設の改修、更新が必要です。									
評価視点										総合評価	
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・廃止を検討		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
			○				○				○
A											
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充				計画的に修繕、改修を実施するため、施設の長寿命化を図りながら、財政負担を平準化させた更新計画に基づいて、5年ごとに見直しをしながら、施設管理を行っていきます。 予算については、年度によって修繕、改修費用が上下します。						
	現状維持			○							
	縮小										
	廃止										
コスト投入の方向性											
削減					縮小	現状維持	拡大				

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり		項	1 次世代育成		掲載	54	頁		
	施策	2 学校教育		取組	6 教育施設の整備						
事業名		中学校維持点検事業			SDGs	4、11、17					
担当課		教育部 学校教育課 庶務係									
目的	誰を・何を(対象)	中学校									
	どのようにしたいか(意図)	生徒が安全な場所と感じることができる教育環境の確保に向け、施設・設備を維持管理します。									
財源内訳	事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額		対前年比(%)	2022(R4) 年度予算額		対前年比(%)		
		3,075		3,290		107%	6,020		183%		
	国・県支出金	0		0		0	0		0		
	受益者負担	0		0		0	0		0		
	その他特定財源	0		0		0	0		0		
	一般財源	3,075		3,290		107%	6,020		183%		
	職員数(人)	0.22		0.24		109%	0.24		100%		
主な事業実績(評価指標)	2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①	委託件数									件	
	13	-	0	10	-	0	10	-	0		
指標②	-										
			0			0			0		
主な事業内容		業務委託の実施 プール循環ろ過機保守点検業務、浄化槽保守点検業務、電気設備保守点検業務、小中学校放送設備保守点検業務、給排水衛生機器設備保守点検業務、消防用設備等保守点検業務、給食用ダムウエーター保守点検業務、小中学校遊具及び体育用具施設保守点検業務、防犯等警備業務、エレベーター保守点検業務									
成果		保守点検業務委託を実施することにより、施設・設備の老朽化による劣化や損傷等が早期に発見でき、速やかな修繕に繋げられ、安全な場所と感じることができる教育環境の確保に寄与しました。									
課題		施設・設備の老朽化が進み、点検による不具合が多くなっており、多くの施設・設備で修繕、更新が必要となっています。									
評価視点										総合評価	
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
		○				○					○
A											
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充				施設、設備の適期点検により、不具合を早期に発見し対応することで、円滑な学校運営、児童等の安全確保を行います。 なお、令和4年度予算については、令和3年度予算の一般管理費から組み替えた事業があるため増加しています。						
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
コスト投入の方向性											
皆減 縮小 現状維持 拡大											

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁
	施策	2 学校教育	取組	1 学校教育の充実			

事業名	中学校教育振興事業	SDGs	4、5、17
-----	-----------	------	--------

担当課	教育部 学校教育課 学校教育係
-----	-----------------

目的	誰を・何を(対象)	生徒
	どのようにしたいか(意図)	生徒が、学習指導要領に応じた教育を受けることができ、確かな学力や健やかな心と体を育んでいけるようにします。

事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額	2021(R3) 年度決算額	対前年比(%)	2022(R4) 年度予算額	対前年比(%)
	56,015	62,391	111%	75,193	121%

財源内訳	国・県支出金	12,055	4,954	41%	455	9%
	受益者負担	7	5	71%	6	120%
	その他特定財源	0	0	0	0	0
	一般財源	43,953	57,432	131%	74,732	130%
職員数(人)		0.93	0.94	101%	0.93	99%

主な事業実績(評価指標)	2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	

指標①	就学援助事業対象生徒数									人
	155	-	0	169	-	0	163	-	0	

指標②	特別支援教育就学奨励事業対象生徒数									人
	20	-	0	25	-	0	24	-	0	

主な事業内容	・中学校運営(消耗品購入、修繕、バス借上、各種教材・図書の購入等)事業 ・中学校就学援助(学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助)事業 ・中学校特別支援教育就学奨励(学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助)事業
--------	---

成果	・中学校就学援助事業においては、経済的な支援を必要とする生徒の保護者に対し、学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を実施し、経済的理由により就学困難な児童への教育の機会均等を図りました。 ・中学校特別支援教育就学奨励事業においては、特別支援学級への就学の事情を考慮し、その生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、学用品費、学校給食費、修学旅行費等の援助を実施し、特別支援教育の普及奨励を図りました。
----	---

課題	・各種教材、図書等の購入は、経常的にコストがかかります。各種教材、図書等を充実させるには、コストが増加します。 ・中学校就学援助事業の判定要件(所得)、認定基準、援助費目について、社会経済情勢の変動が著しい今般、より実情に即した援助となっていることを常に確認しなければなりません。
----	---

評価視点										総合評価
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------

必要性			有効性			効率性			A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・廃止を検討	
-----	--	--	-----	--	--	-----	--	--	--	--

			○				○				○	A
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	

今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等						
--------	--	--	--	--	-------------------	--	--	--	--	--	--

成果の方向性	拡充				・理科の実験器具は、文部科学省からの補助金を活用して、計画的な購入を進めており、引き続き、計画的な購入、更新に努めます。 ・中学校就学援助事業について、他市町村の動向を参考にしながら、必要に応じて判定要件(所得)、認定基準、援助費目等の見直しを行います。						
	現状維持			○							
	縮小										
	廃止										

					コスト投入の方向性						
					削減	縮小	現状維持	拡大			

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 3 年度)

事業名	中学校教育振興事業	担当課	学校教育課 学校教育係
-----	-----------	-----	-------------

No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	中学校運営事業	教職員及び生徒	報酬支払、消耗品購入、修繕、バス借上、各種教材・図書 の購入等について、遅滞なく 執行して	教育活動及び生徒の学校生活 を充実させます。	43,562	55,714	現状維持	現状維持
2	中学校就学援助事業	経済的な支援を必要とする生 徒の保護者	学用品費、学校給食費、修学 旅行費等の援助を実施して	経済的理由により就学困難な 生徒への教育の機会均等を図 ります。	17,568	18,283	現状維持	現状維持
3	中学校特別支援教育 就学奨励事業	特別支援学級に在籍する生徒 の保護者	学用品費、学校給食費、修学 旅行費等の援助を実施して	特別支援教育の普及奨励を図 ります。	1,241	1,196	現状維持	現状維持
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					62,391	75,193	現状維持	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	1 次世代育成	掲載	54	頁
	施策	2 学校教育	取組	5 学校給食の充実			

事業名		給食センター運営事業				SDGs		2、17			
担当課		教育部 学校教育課 学校給食係【旧:教育部 学校給食センター 学校給食センター係】									
目的	誰を・何を(対象)	児童、生徒及び保護者									
	どのようにしたいか(意図)	・安全安心でおいしい給食の提供 ・食に関する正しい理解 ・食育の推進									
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		312,519		322,440 103%			362,223 112%				
財源内訳	国・県支出金	60,157		0 0%			0 0%				
	受益者負担	150,889		222,552 147%			230,236 103%				
	その他特定財源	3,644		762 21%			726 95%				
	一般財源	97,829		99,126 101%			131,261 132%				
職員数(人)		7.36		7.36 100%			1.02 14%				
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		食に関する巡回指導									回
		106	-	0	78	-	0	100	-	0	
指標②		-									
				0			0			0	
主な事業内容		・児童生徒の心身の発達のため、栄養バランスの摂れた給食を提供します ・食に関して特別の配慮(アレルギー)を必要とする児童生徒の保護者に対し、個別的な対応方法についての確認を実施します ・児童生徒に対し食に関する巡回指導を実施します									
成果		以下のとおり、児童生徒にきめ細かく対応し、安全に給食を提供することができました。 ・4,611名(小学校3,107名、中学校1,504名) ・小学校193回、中学校193回 ・食に関する巡回指導100回 ・アレルギー面談を90回									
課題		令和4年度調理・配送等を業務委託により、体制が変更します。									

評価視点												総合評価	
必要性				有効性				効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討	
		○				○			○			B	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充					・調理・配送等の委託に伴う引継ぎ及び確認を行いながら、業務体制を確立していきます。 ・令和5年4月からは東浦高校敷地内に壘(ろう)学校が併設されることから、壘(ろう)学校の生徒に対する給食の提供方法について愛知県と具体的な検討を行います。							
	現状維持		○										
	縮小												
	休廃止												
		皆減	縮小	現状維持	拡大								
						コスト投入の方向性							

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり		項	1 次世代育成		掲載	54	頁		
	施策	2 学校教育		取組	5 学校給食の充実						
事業名		給食センター維持管理事業			SDGs	2、17					
担当課		教育部 学校教育課 学校給食係【旧:教育部 学校給食センター 学校給食センター係】									
目的	誰を・何を(対象)	学校給食センター									
	どのようにしたいか(意図)	学校給食の衛生面、安全性を確保するため、施設の維持管理を行います。									
財源内訳	事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)					
		16,404		16,657 102%		16,676 100%					
	国・県支出金	0		0 0		0 0					
	受益者負担	0		0 0		0 0					
	その他特定財源	0		0 0		0 0					
	一般財源	16,404		16,657 102%		16,676 100%					
職員数(人)		1.28		1.28 100%		1.09 85%					
主な事業実績(評価指標)	2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①	-										
	-	-	0	-	-	0	-	-	0		
指標②	-										
			0			0			0		
主な事業内容		【手数料】 ・第一種圧力容器検査 ・上水道(受水槽)水質検査 【委託業務】 ・厨房機械等各種設備の保守点検等管理業務									
成果		衛生管理及び施設設備の保守点検を図り、安全安心な給食を提供できました。									
課題		検査及び点検をより徹底するため、回数を増やすことにより安全性は高まりますが事業費は増大します。									
評価視点											
必要性				有効性			効率性				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
○				○			○			A	
A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討											
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充										
	現状維持		○								
	縮小										
	休廃止										
		削減	縮小	現状維持	拡大						
		コスト投入の方向性									
・委託料が最適であるか定期的に他市町と比較確認します。											

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58	頁	
	施策	1 生涯学習			取組	1 生涯学習機会の充実						
事業名		社会教育委員事業				SDGs	4、17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係										
目的	誰を・何を(対象)	社会教育委員会議										
	どのようにしたいか(意図)	より良い会議運営を行うとともに、社会教育委員からの意見を参考にして、社会教育に関する諸計画の立案や振興方策等に役立てます。										
財源内訳	事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		190			186 98%			490 263%				
	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	190			186 98%			490 263%				
	職員数(人)	0.04			0.03 75%			0.05 167%				
主な事業実績(評価指標)	2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位		
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率			
指標①	-											
			0			0			0			
指標②	-											
			0			0			0			
主な事業内容		社会教育委員会議の実施(主な議題は以下のとおり) ・前年度事業実績及び当年度事業計画 ・コロナ禍における各施設の利用状況 ・翌年度における取組										
成果		社会教育委員会議を3回実施(うち1回は書面開催)し、社会教育委員から意見があった各委員からの意見徴収や自由討議の時間を新たに設けるなど、会議の内容について改善を行いました。										
課題		これまでの会議運営から改善を行いましたが、活発な意見交換には至っていません。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
										A		
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充										引き続き意見交換の時間を設け社会教育委員同士の活発な意見交換を促すとともに、委員から自発的な意見が出されるような会議運営を検討します。	
	現状維持				○							
	縮小											
	休止											
		増減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁				
	施策	1 生涯学習	取組	1 生涯学習機会の充実							
事業名		社会教育一般管理事業		SDGs		4, 17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	住民									
	どのようにしたいか(意図)	社会教育活動の機会の提供や活動を支援することにより、住民の自主的な活動を活発にします。									
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額	2021(R3) 年度決算額	対前年比(%)	2022(R4) 年度予算額	対前年比(%)					
		3,173	3,427	108%	4,511	132%					
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0					
	受益者負担	0	0	0	0	0					
	その他特定財源	0	0	0	0	0					
	一般財源	3,173	3,427	108%	4,511	132%					
職員数(人)		0.26	0.25	96%	0.29	116%					
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		高齢者教室の定員数に対する参加率									%
		55	80	69%	-	80	0	-	80	0	
指標②		生涯学習あんない「いきいき生涯学習ネット」掲載団体数(サークル編)※体育・スポーツ及び福祉関係除く。									団体
		106	120	88%	90	120	75%	122	120	102%	
主な事業内容		①高齢者教室委託事業(老人クラブの企画による高齢者向け講座) ②講座教室の内容を冊子にした「生涯学習あんない」を発行 ③家庭教育事業(講演会) ④親子ふれあい委託事業									
成果		①高齢者教室委託事業は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しました。 ②「生涯学習あんない」講座・イベント編(年2回)、サークル編(年1回)を発行することにより、生涯学習情報を提供できました。 ③家庭教育に係る講演会を実施することで、親子のコミュニケーション術を学ぶ機会を提供しました。 ④親子ふれあい委託事業は北中おやじの会の活動により実施することで親子のふれあいの機会を提供しました。									
課題		①高齢者教室は内容を良くするため創意工夫を行っていますが参加者数が減少しています。 ②「生涯学習あんない」の講座実施後、講座受講が一過性にならず、受講者がサークルを組織し、継続につなげていく働きかけが必要です。									
評価視点											総合評価
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の継続・休廃止を検討		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
		○					○				○
A											
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等					
成果の方向性	拡充					①老人クラブに委託することで、高齢者による高齢者のための講座を催す仕組みとなっています。高齢者のニーズにマッチするよう老人クラブのサポートをしながら事業を進め参加者を増やしていきます。 ②「生涯学習あんない」は、講座を実施後サークルを組織し継続してもらうことで、生涯学習団体の増加が見込めます。魅力的な講座企画や運営を行い、参加者を増やし、定期的な活動を行えるように促していきます。					
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
コスト投入の方向性											
皆減 縮小 現状維持 拡大											

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 3 年度)

事業名	社会教育一般管理事業	担当課	生涯学習課 生涯学習係
-----	------------	-----	-------------

No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	親子ふれあい委託事業	児童・生徒とその親、親の会	子どもとのふれあいの催しを実施することで	親子の思い出を作ってもらいます。	3,250	3,260	現状維持	現状維持
2	東浦町高齢者教室委託事業 (令和3年度中止)	高齢者、老人クラブ	高齢者による高齢者のための講座を実施することで	生きがいや学びの場を設けます。	0	540	現状維持	現状維持
3	PTA連絡協議会補助事業 (令和3年度中止)	東浦町PTA連絡協議会	補助金を交付することによって	子どもの教育や地域貢献をしています。	0	72	現状維持	現状維持
4	婦人会補助事業 (令和3年度中止)	東浦町婦人会連絡協議会	補助金を交付することによって	地域に貢献してもらいます。	0	140	現状維持	現状維持
5	家庭教育事業	未成年の子を持つ親	講演を開催することによって	家庭教育への理解を深めます。	80	335	現状維持	現状維持
6	「生涯学習あんない」発行事業	住民	冊子を発行することによって	様々な講座・教室があることを知ってもらいます。	97	164	現状維持	現状維持
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					3,427	4,511	現状維持	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58	頁	
	施策	1 生涯学習			取組	3 青少年育成の環境づくり						
事業名		青少年教育事業				SDGs	4、17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係										
目的	誰を・何を(対象)	青少年										
	どのようにしたいか(意図)	青少年自らが企画、運営に参加する機会を通して、考え行動する能力を養い、町や地域で活躍できる人材を育みます。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額		対前年比(%)	2022(R4) 年度予算額		対前年比(%)			
		1,327		1,420		107%	2,450		173%			
財源内訳	国・県支出金	0		0		0	0		0			
	受益者負担	0		57		0	72		126%			
	その他特定財源	0		0		0	0		0			
	一般財源	1,327		1,363		103%	2,378		174%			
職員数(人)		0.30		0.26		87%	0.41		158%			
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		ミュージックフェスティバル参加者数									人	
		350	350	100%	-	350	0	-	350	0		
指標②		成人式への出席率									%	
		81	100	81%	83	100	83%	84	85	99%		
主な事業内容		①ミュージックフェスティバル委託事業 対象 音楽愛好家(実行委員会は青少年を中心に運営) 内容 音楽イベントの企画及び運営全般 ②成人式委託事業 対象 20歳を迎える方(実行委員は町内3中学校の卒業生から18名選出) 内容 式の企画及び運営全般										
成果		①新型コロナウイルス感染症のまん延の影響により実施できませんでした。 ②実行委員会を8回開催し、青少年自らが企画、運営に参加する機会となりました。 令和4年1月9日成人式 コロナ禍により午前午後と分けて実施 出席者:481名										
課題		①運営スタッフの入れ替わりがないため、青少年の協力者を増やす必要があります。 ②実行委員の自発的な行動もあり見られないため、実行委員自ら考え行動する組織づくりが必要です。										
評価視点											総合評価	
必要性				有効性				効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	A
		○				○				○		
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充											①動画配信の併用なども検討し、新型コロナウイルス感染症対策を行い開催を目指します。また、高校生の参加を働きかけ青少年の運営スタッフの増員を行い年代を問わず参加できるものに改善していきます。 ②令和4年4月から成人年齢が引き下げられましたが、東浦町ではこれまでどおり20歳を迎える方を対象に式典を開催します。実行委員会では、委員主体で動かせるように会の運営を見直し、二十歳のつどい(仮称)を魅力ある式典にしていくように働きかけていきます。
	現状維持				○							
	縮小											
	休廃止											
コスト投入の方向性												
		削減	縮小	現状維持	拡大							

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 3 年度)

事業名	青少年教育事業	担当課	生涯学習課 生涯学習係
-----	---------	-----	-------------

No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	ミュージックフェスティバル委託事業 (令和3年度中止)	音楽愛好家	主に軽音楽によるコンサートイベントを実施することで	音楽の楽しさを体験させます。	0	350	現状維持	現状維持
2	成人式委託事業	20歳を迎える方	新成人への祝意を表し新成人自ら実行委員会を組織し式を実施することで	成人となった自覚を促します。	1,160	1,633	現状維持	現状維持
3	ボーイスカウト補助金事業	東浦ボーイスカウト第1団、第2団	補助金を交付することで	社会貢献を促します。	180	180	現状維持	現状維持
4	親子ふれあい事業	小中高生	イベントを企画し、実施に参加してもらうことによって	体験により子どもたちの内面の成長につなげます。	29	220	現状維持	現状維持
5	青少年対策事業	青少年	啓発等の実施によって	青少年の健全かつ善良なこころの成長につなげます。	51	67	現状維持	現状維持
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					1,420	2,450	現状維持	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁
	施策	3 文化振興	取組	3 文化・芸術活動の推進			

事業名	文化芸術活動推進事業	SDGs	8, 17
-----	------------	------	-------

担当課	教育部 生涯学習課 生涯学習係
-----	-----------------

目的	誰を・何を(対象)	住民、参加者
	どのようにしたいか(意図)	生活の中の潤いや安らぎ、創造の喜びのため、文化活動や芸術鑑賞ができ、学習の成果を発表するなどして、住民等が文化の創造と発展の主体となっています。

事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額	2021(R3) 年度決算額	対前年比(%)	2022(R4) 年度予算額	対前年比(%)
	1,345	1,691	126%	2,306	136%

財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0
	受益者負担	219	124	57%	693	559%
	その他特定財源	300	300	100%	0	0%
	一般財源	826	1,267	153%	1,613	127%
	職員数(人)	0.22	0.18	82%	0.19	106%

主な事業実績(評価指標)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	単位
	実績値 目標値 達成率	実績値 目標値 達成率	実績値 目標値 達成率	

指標①	うの花音楽祭の来場者数	人
	310 350 89% - 350 0 - 350 0	

指標②	-	0 0 0
-----	---	-------

主な事業内容	①文化協会補助金 ②うの花音楽祭委託事業の実施 ・実行委員 東浦町コーラス連盟 ・内容 合唱祭(音楽祭)の企画及び運営 ③落語を楽しむ会委託事業の実施 ・実行委員 落語を楽しむ会実行委員会 ・内容 落語家として活躍する地元出身者(半田市・東浦町)による寄席の企画及び運営
--------	---

成果	以下の事業を住民が主体的に取り組み実施することで文化芸術の振興に寄与しました。 ①文化センターが新型コロナワクチン接種会場のため利用できなかったため、会場分散開催を提案し、「コロナに負けない文化展」として実現できました。 ②Special Editionとして無観客収録等を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できませんでした。 ③令和3年12月26日(日)に開催 来場者:81名
----	---

課題	①文化協会会員が高齢化しているとともに会員数が減少傾向にあります。新規に加入する人も少なく協会の会員数を維持できるかが課題です。 ②出演者が固定化しているため、一般団体の募集をしていますが、町外団体などの参加には至っていません。
----	---

評価視点												総合評価	
必要性				有効性				効率性				A 計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討	
		○				○				○			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		

今後の方向性	事業の改善点・今後の具体的な取組等
成果の方向性	①会場を分散しての文化展の開催など、新規会員の獲得に繋がるよう文化協会を支援します。 ②一般団体の募集を行う際に、広報紙及びホームページのほか、LINEやTwitter等のSNSに加え、ポスターを作成するなど周知方法の検討を行います。参加団体を増やすことで祭典を盛り上げ、来場者数の増加につなげます。
縮小 現状維持 拡大	
削減 縮小 現状維持 拡大	
コスト投入の方向性	

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度: 令和 3 年度)

事業名		文化芸術活動推進事業			担当課		生涯学習課 生涯学習係	
No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	盆踊り講習会事業 (令和3年度中止)	各地区コミュニティの住民	講師による盆踊り講習会を開催することで	盆踊りの練習機会を提供し地域振興に寄与します。	0	15	現状維持	現状維持
2	東浦町音楽祭委託事業 (令和3年度中止)	コーラス団体	うのはな音楽祭を開催することで	歌唱コーラスの振興と文化芸術の発展に寄与します。	0	180	現状維持	現状維持
3	講座等開催委託事業	住民	落語を楽しむ会を開催することで	落語を通して文化芸術への興味や理解を深めます。	425	425	現状維持	現状維持
4	文化協会補助事業	文化協会	補助金を交付して	文化芸術団体を支援しその振興発展を図ります。	1266	1386	現状維持	現状維持
5	著名人イベント事業 (令和3年度新規事業、中止)	住民	著名人によるイベントの実施することで	文化芸術に触れる機会を作ります。	0	300	現状維持	現状維持
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					1,691	2,306	現状維持	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	1 生涯学習機会の充実			

事業名		文化センター事業					SDGs		4、17		
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	住民									
	どのようにしたいか(意図)	幅広い分野や専門性の高い内容の教室・講座を開催することで、サークル活動等を盛んにします。また、利用者自身で企画や立案、運営を行うマイスタディー講座やマイプロデュース講座を行い自主的な活動を促します。									
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)			
		4,312			6,140 142%			5,221 85%			
財源内訳	国・県支出金	488			499 102%			0 0%			
	受益者負担	224			265 118%			797 301%			
	その他特定財源	0			0 0			0 0			
	一般財源	3,600			5,376 149%			4,424 82%			
職員数(人)		1.42			0.95 67%			0.82 86%			
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		文化センターの新規教室・講座参加率									%
		77	75	103%	76	75	101%	86	75	115%	
指標②		文化センターで実施する講座・教室の定員に対する受講率									%
		75	75	100%	80	75	107%	86	75	115%	
主な事業内容		・子ども向け、託児付、青少年、料理、その他一般向け講座 ・マイスタディー講座(学びたい人が自ら企画・運営) ・マイプロデュース講座(教えたい人が自ら企画・運営) ・ICTプログラミング講座									
成果		・新型コロナウイルス感染症のまん延の状況下、以下のとおり講座を実施したことにより生涯学習の振興に及び自主的な活動の促進に寄与しました。 講座数 22講座 開催回数 60回 受講者数 265人 定員数 308人 受講率 86% うちマイプロデュース講座 講座数 3講座 開催回数 12回 受講者数 26人 定員数 30人 受講率 87% ・新たにICTプログラミング講座を実施し、将来的なICT教育の発展に向けた取組につなげることができました。 ロボットコース 開催回数 6回 受講者数 10人 定員数 10人 受講率 100% ゲームコース 開催回数 6回 受講者数 3人 定員数 10人 受講率 30%									
課題		・定員に満たない講座もあったため、住民のニーズを把握し、地域・世代間の連携・交流を促す講座など、興味を持ってもらえる講座の計画が必要です。 ・ICTプログラミング講座が、継続的かつ発展的に学ぶ機会を提供できるよう自立した地域型のICTクラブの設立につなげられるかが課題です。									
評価視点										総合評価	
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休止止を検討		
		○			○			○	A		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い			やや低い
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充					・講座終了時、受講者にアンケートを行い、ニーズを把握し、新規講座の開設や既存講座の改善につなげていきます。また、魅力的な講座名やキャッチコピーをつけるなど、住民に興味を持ってもらえるように広報活動をしていきます。 ・ICT教育の実施に向けた取り組みが、継続的かつ発展的に学ぶ機会を提供できるよう自立した地域型のICTクラブの設立等に発展できるよう指導者の育成を考えていきます。					
	現状維持			○							
	縮小										
	休止										
コスト投入の方向性											
削減 縮小 現状維持 拡大											

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習			取組	4 社会教育施設の整備					
事業名		文化センター施設整備事業				SDGs	4、11、17				
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	文化センター									
	どのようにしたいか(意図)	必要な改修工事等を行い、建物の性能を維持することで、長寿命化を図ります。									
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)			
		9,389			18,409 196%			2,502 14%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	0			0 0			0 0			
	その他特定財源	0			0 0			0 0			
	一般財源	9,389			18,409 196%			2,502 14%			
職員数(人)		0.51			0.42 82%			0.33 79%			
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-									
				0			0			0	
指標②		-									
				0			0			0	
主な事業内容		文化センター施設の維持に必要な工事の実施(軽微な修繕を除く。) ・非常用発電機の更新工事 ・漏水緊急対応工事 ・受電設備更新工事 ・敷地内外灯及び窓戸車修繕工事 ・空調室外機部品取替工事 ・舞台吊物修繕工事									
成果		・非常用発電機を改修することで、火災時の二次災害を防ぐ機能を維持することができました。 ・施設内で漏水がありましたが、速やかに修繕を行い、漏水による損害を最小限に抑えました。 ・経年劣化してる受電設備を更新し、電気設備の性能を回復することができました。 ・外灯及び窓戸車を修繕し、利用者が安全に施設を利用できるよう整備しました。 ・空調室外機を修理し、利用者が快適に施設を利用できるよう整備しました。 ・舞台吊物のワイヤーを取付し、利用者が安全に施設を利用できるよう整備しました。									
課題		建設から45年経過し、施設の老朽化が進んでいるため、今後も修繕が必要になると考えられます。60年から80年施設を使っていけるように状態をみて計画的に修繕していく必要があります。									
評価視点										総合評価	
必要性				有効性				効率性		A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休廃止を検討	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
			○				○				○
A											
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡大										今後の改修について、計画的に実施していきます。令和5年に屋根防水の改修を予定しています。また、今後も、建物を長く使っていくため、劣化や故障がないか継続的に注視していく必要があります。 令和4年度は大規模な改修工事は予定していませんが、今後、電気代削減効果や照明機器の老朽化の現状を踏まえてLED照明導入を検討します。
	現状維持				○						
	縮小										
	休廃止										
コスト投入の方向性											
皆減 縮小 現状維持 拡大											

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58	頁	
	施策	1 生涯学習			取組	4 社会教育施設の整備						
事業名		文化センター維持管理事業				SDGs	4、11、17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係										
目的	誰を・何を(対象)	文化センター										
	どのようにしたいか(意図)	住民が快適に施設を利用できるよう、適切な維持管理を行います。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		13,480			12,799 95%			15,857 124%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	788			10 1%			1,481 14810%				
	その他特定財源	23			15 65%			22 147%				
	一般財源	12,669			12,774 101%			14,354 112%				
職員数(人)		1.23			1.01 82%			1.34 133%				
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		-										
				0			0			0		
指標②		-										
				0			0			0		
主な事業内容		文化センターの維持管理及び軽微な修繕 ・光熱水費の支払い ・消防設備、空調、エレベーター、受水槽、印刷機の保守点検 ・管理委託の実施 ・草刈り、植栽の剪定等の実施 ・設備の点検調整 ・公用車の点検整備										
成果		・施設修繕等により、利用者が安心して利用できる施設を保つことができました。 ・特定建築物定期検査において指摘のあった防火扉の修繕を行いました。 ・サッシ上のシーリングを打ち換えし雨漏り修繕しました。 ・敷地内の高木せん定及び桜の植え替えをしました。										
課題		設備の老朽化が原因と思われる故障等が多くなっています。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休止を検討
			○				○				○	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充											・委託料や電気代などのコストについて最適であるか定期的に前年度との比較等により確認していく必要があります。 ・施設、設備に不具合が発生していないか保守点検の結果等の確認を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。
	現状維持				○							
	縮小											
	休止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58	頁																																																
	施策	1 生涯学習			取組	1 生涯学習機会の充実																																																					
事業名		地区コミュニティセンター等事業				SDGs	4, 17																																																				
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係																																																									
目的	誰を・何を(対象)	住民																																																									
	どのようにしたいか(意図)	地区の文化活動の拠点として、住民のみなさんのニーズに応じた各種教室・講座を開催することで生涯にわたって自由に学び、成果を活かすことができるようにします。																																																									
財源内訳	事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)																																																			
		186			184 99%			563 306%																																																			
	国・県支出金	0			0 0			0 0																																																			
	受益者負担	104			119 114%			372 313%																																																			
	その他特定財源	0			0 0			0 0																																																			
	一般財源	82			65 79%			191 294%																																																			
	職員数(人)	0.16			0.15 94%			0.16 107%																																																			
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位																																																
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率																																																	
	指標①	地区コミュニティセンター等の新規教室・講座参加率																																																									
		77	75	103%	90	75	120%	86	75	115%	%																																																
指標②	地区コミュニティセンター等で実施する講座・教室の定員に対する受講率									%																																																	
		75	75	100%	84	75	112%	87	75	116%	%																																																
主な事業内容		子ども向け、料理、運動、その他一般講座の実施																																																									
成果		新型コロナウイルス感染症のまん延の状況下、予定していた全ての講座を実施することができず、実施は半数程度に留まりましたが、以下の講座実施により生涯学習の振興及び自主的な活動の促進に寄与しました。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>講座数</th> <th>開催回数</th> <th>受講者数</th> <th>定員数</th> <th>受講率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森岡コミュニティセンター</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>緒川コミュニティセンター</td> <td>2</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>24</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>卯ノ里コミュニティセンター</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>石浜コミュニティセンター</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>19</td> <td>24</td> <td>79%</td> </tr> <tr> <td>生路コミュニティセンター</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>14</td> <td>18</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>藤江公民館</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>96%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9</td> <td>29</td> <td>96</td> <td>110</td> <td>87%</td> </tr> </tbody> </table>											講座数	開催回数	受講者数	定員数	受講率	森岡コミュニティセンター	1	5	20	20	100%	緒川コミュニティセンター	2	10	20	24	83%	卯ノ里コミュニティセンター	0	0	0	0	0	石浜コミュニティセンター	2	8	19	24	79%	生路コミュニティセンター	2	3	14	18	78%	藤江公民館	2	3	23	24	96%	合計	9	29	96	110	87%
	講座数	開催回数	受講者数	定員数	受講率																																																						
森岡コミュニティセンター	1	5	20	20	100%																																																						
緒川コミュニティセンター	2	10	20	24	83%																																																						
卯ノ里コミュニティセンター	0	0	0	0	0																																																						
石浜コミュニティセンター	2	8	19	24	79%																																																						
生路コミュニティセンター	2	3	14	18	78%																																																						
藤江公民館	2	3	23	24	96%																																																						
合計	9	29	96	110	87%																																																						
課題		75%の参加率を目標に実施していますが、夏休みにおける子ども向けの講座などの人気があるものだけでなく、新しい講座メニューを見つける試みが必要です。																																																									
評価視点										総合評価																																																	
必要性				有効性				効率性																																																			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い																																																
										A																																																	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等																																																							
成果の方向性	拡充										地域による地域のための講座を開催していきます。また、各地区のニーズを把握して新規講座の開設や既存講座の改善に繋げ、魅力的な講座名やキャッチコピーをつけるなど、住民に興味を持ってもらえるように広報活動をしていきます。 令和4年度は計画している全ての講座を実施する予定で予算計上しています。																																																
	現状維持				○																																																						
	縮小																																																										
	休廃止																																																										
コスト投入の方向性																																																											
増減 縮小 現状維持 拡大																																																											

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁			
	施策	1 生涯学習	取組	4 社会教育施設の整備						
事業名		地区コミュニティセンター等施設整備事業		SDGs		4、11、17				
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係								
目的	誰を・何を(対象)	地区コミュニティセンター(藤江を除く)及び藤江公民館								
	どのようにしたいか(意図)	必要な改修工事等を行い、建物の性能を維持することで、長寿命化を図ります。								
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額	2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)					
		58,120	58,714	101%	48,557	83%				
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0				
	受益者負担	0	0	0	0	0				
	その他特定財源	0	0	0	0	0				
	一般財源	58,120	58,714	101%	48,557	83%				
職員数(人)		0.23	0.22	96%	0.36	164%				
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)		2020(R2)		2021(R3)		単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		実績値	目標値
指標①				0			0		0	
指標②				0			0		0	
主な事業内容		地区コミュニティセンター(藤江を除く)及び藤江公民館の維持に必要な工事の実施(軽微な修繕を除く。)								
成果		以下の改修工事等を行うことで利用者が安心して使用できる施設を保つことができました。 ・森岡及び卯ノ里コミュニティセンターでは、舞台吊物設備の補強を行いました。 ・森岡コミュニティセンターでは、電気設備におけるケーブル等の取替修繕等を行いました。 ・緒川及び卯ノ里コミュニティセンターでは、空調室外機の部品取替等の修繕を行いました。 ・生路コミュニティセンターでは、室内カーテンの取替を行いました。 ・藤江公民館では、空調機の取替修繕を行いました。								
課題		所管施設は、建物から40年以上経過している施設が多いため、修繕等を計画的に行う必要があります。								
評価視点										
必要性		有効性		効率性		総合評価				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い			
		○			○		○			
A										
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充						・施設の構造部分については、個別施設計画に基づき改修工事を実施していく必要があります。 ・施設、設備に不具合が発生していないか適宜確認を行い、必要に応じて改修工事を計画します。 ・照明のLED化について今後検討していく必要があります。			
	現状維持			○						
	縮小									
	廃止									
		皆減	縮小	現状維持	拡大					
コスト投入の方向性										

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2. 人を育み、人を活かすまちづくり		項	2 生涯学習		掲載	58	頁			
	施策	1 生涯学習		取組	4 社会教育施設の整備							
事業名		地区コミュニティセンター等維持管理事業			SDGs	4、11、17						
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係										
目的	誰を・何を(対象)	地区コミュニティセンター(藤江を除く)及び藤江公民館										
	どのようにしたいか(意図)	住民が快適に施設を利用できるよう、適切な維持管理を行います。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額		対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額		対前年比(%)		
		25,744		26,872		104%		35,634		133%		
財源内訳	国・県支出金	0		0		0		0		0		
	受益者負担	2,096		2,301		110%		4,025		175%		
	その他特定財源	121		106		88%		107		101%		
	一般財源	23,527		24,465		104%		31,502		129%		
職員数(人)		0.72		0.71		99%		0.97		137%		
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		-			-			-				
		0			0			0				
指標②		-			-			-				
		0			0			0				
主な事業内容		地区コミュニティセンター及び藤江公民館を運営していくための維持管理及び軽微な修繕 ・夜間土日等の管理委託 ・保守点検(電気設備・消防用設備・空調設備) ・清掃委託 ・浄化槽維持管理委託 ・防犯警備業務委託 ・建築物定期検査委託 ・光熱水費の支払い等										
成果		・施設の各設備の検査点検、防犯警備委託及び光熱水費の支払いを実施し、適切な維持管理を行うことで、利用者が安心して使用できる施設を保つことができました。 ・緒川コミュニティセンターでは、誘導灯の取替等、消防設備の修繕を行いました。 ・石浜コミュニティセンターでは、漏水に伴う緊急修繕を行いました。 ・生路コミュニティセンターでは、照明器具の取替修繕を行いました。										
課題		設備の老朽化が原因と思われる故障等が多くなっています。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性				A. 計画どおりに事業を進めることが適当 B. 事業の進め方の改善を検討 C. 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D. 事業の統合・休止を検討
			○				○				○	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充										・委託料や電気代などのコストについて最適であるか定期的に前年度との比較等により確認していく必要があります。 ・施設、設備に不具合が発生していないか保守点検の結果等の確認を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。	
	現状維持			○								
	縮小											
	休止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり		項	2 生涯学習		掲載	58	頁		
	施策	1 生涯学習		取組	2 図書館機能・サービスの充実						
事業名		中央図書館運営事業			SDGs	4、11、17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係 【旧: 教育部 図書館 図書館係】									
目的	誰を・何を(対象)	住民、図書館資料									
	どのようにしたいか(意図)	・図書館資料の貸出し、レファレンス、相互貸借、イベント等を実施することで、読書のきっかけづくりや継続的な読書活動につなげます。 ・継続的な図書館資料の購入とリサイクル事業によって適切な図書館資料の所蔵数を保持します。									
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額		対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額		対前年比(%)	
		43,172		43,863		102%		0		0%	
財源内訳	国・県支出金	0		0		0		0		0	
	受益者負担	0		0		0		0		0	
	その他特定財源	55		113		205%		0		0%	
	一般財源	43,117		43,750		101%		0		0%	
職員数(人)		2.73		3.03		111%		0.00		0%	
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		イベント・講座の開催数									件
		15	11	136%	9	16	56%	19	19	100%	
指標②		図書館資料の購入点数									点
		4,383	4,950	89%	4,914	4,950	99%	4,716	4,950	95%	
主な事業内容		・図書館資料購入 ・図書館資料の貸出し、レファレンス、相互貸借、講座等の実施 ・よむらびフェスタ(図書館まつり)、クリスマス会の実施 ・開館30周年記念イベントの実施 ・リサイクルフェア ・子ども読書活動推進									
成果		次の事業を行い、読書活動に寄与しました。 ・図書館資料の貸出し点数: 一般書109,234点、児童書115,093点、視聴覚資料10,162点、雑誌14,244点 ・各種講座、イベントの実施: 9講座、4イベント、よむらびカフェ(2回)、開館30周年記念事業: 2イベント、よむらびフェスタ、クリスマス会を実施 ・レファレンス件数: 622件 ・相互貸借件数: 貸190点、借549点 ・リサイクルフェア: 譲渡冊数8,084点 ・子ども読書活動推進: おはなし会、読書通帳、発達段階に応じたブックリスト、よむらび通信、中央図書館だより、ブックスタート、図書館見学の受け入れ、図書資料の学級文庫への巡回、学校図書館担当者との情報交換(隔月)									
課題		新型コロナウイルス感染症のまん延を契機として、人々のオンライン上での活動がますます盛んになっていることから、電子書籍の導入など図書館に来ずとも読書活動ができる機会を提供することができるよう求められています。									
評価視点										総合評価	
必要性				有効性				効率性			
○				○				○			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
B											
今後の方向性										事業の改善点・今後の具体的な取組等	
成果の方向性	拡充	○				図書館を取り巻く社会的環境の変化、それに伴う図書館に対するニーズの変化に迅速に対応する図書館運営を実施するにあたり、令和4年度より指定管理者制度による適切な運営を行っていきます。 本事業は指定管理者制度導入に伴い廃止となりますが、事業の進め方の改善を図るということで総合評価を「B」としています。					
	現状維持										
	縮小										
	休止										
		削減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性					

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度: 令和 3 年度)

事業名	中央図書館運営事業	担当課	生涯学習課 生涯学習係
-----	-----------	-----	-------------

No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	図書館サービス充実事業 (令和4年度中央図書館運営管理事業へ移行)	利用者	図書館資料の貸出し、レファレンス、相互貸借、イベント等の事業によって	読書のきっかけづくりや継続的な読書活動につなげます。	27,112	0	拡充	現状維持
2	図書館資料購入・リサイクル事業 (令和4年度中央図書館運営管理事業へ移行)	資料	継続的な図書館資料の購入とリサイクル事業によって	適切な所蔵数を保持します。	16,751	0	拡充	現状維持
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					43,863	0	拡充	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58	頁				
	施策	1 生涯学習			取組	2 図書館機能・サービスの充実									
事業名		中央図書館管理事業				SDGs		4、11、17							
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係【旧:教育部 図書館 図書館係】													
目的	誰を・何を(対象)	図書館施設(設備)、利用者、図書館職員													
	どのようにしたいか(意図)	・図書館施設(設備)の適切な管理と長寿命化を図ります。 ・利用者の読書活動の利便性を高めるため情報化を推進します。 ・業務の効率化を図るため情報化を推進します。													
財源内訳	事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)							
		43,942			22,827 52%			0 0%							
	国・県支出金	1,120			0 0%			0 0							
	受益者負担	10			0 0%			0 0							
	その他特定財源	148			169 114%			0 0%							
	一般財源	42,664			22,658 53%			0 0%							
	職員数(人)	2.35			2.83 120%			0.00 0%							
主な事業実績(評価指標)	2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位					
	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率						
指標①	ウェブによる図書資料の予約件数									件					
	6,090	8,000	76%	5,860	8,000	73%	7,232	8,000	90%						
指標②	Wi-Fi利用実績(接続端末数)									台					
	2,273	2,151	106%	1,139	1,908	60%	1,266	1,253	101%						
主な事業内容		・施設の保守、修繕、改修工事 ・図書館システムによる図書の管理 ・インターネット閲覧パソコンの提供 ・Wi-Fi環境の提供													
成果		次の事業を実施し、施設の安全性や利便性を高めました。 ・実施した改修工事 中央図書館内装・外壁改修工事(18,299千円) 外灯LED照明改修工事(2,611千円) ・ウェブによる図書資料の予約件数:7,232件 ・インターネット閲覧パソコン利用実績:286件 ・Wi-Fi利用実績(接続端末数)1,266台													
課題		・施設の管理については、施設が老朽化していくので、再配置、複合施設化などを議論していく必要があります。 ・情報化への対応については、より便利で効率的な図書の管理ができるICタグの導入を検討する必要があります。													
評価視点										総合評価					
必要性				有効性				効率性							
			○			○			○						
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い				
B															
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等											
成果の方向性	拡充			○		令和4年度より指定管理者制度を導入し、町の直営から民間業者による管理運営形態に変更します。本事業は指定管理者制度導入に伴い廃止となりますが、事業の進め方の改善を図るということで総合評価を「B」としています。 なお、指定管理者によらない大規模工事等については、事業名を「中央図書館運営管理事業」として引き続き町が実施します。									
	現状維持														
	縮小														
	休止														
コスト投入の方向性															
削減				縮小				現状維持				拡大			

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 3 年度)

事業名		担当課			生涯学習課 生涯学習係			
No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	中央図書館維持管理事業 (令和4年度中央図書館運営管理事業へ移行)	図書館施設(設備)	保守、修繕、工事等によって	適切な管理と長寿命化を図ります。	20,284	0	拡充	現状維持
2	図書館情報化事業 (令和4年度中央図書館運営管理事業へ移行)	利用者、図書館職員	図書館システムやIT技術を活用して	利用者にとっては読書活動の利便性を高め、職員は効率的に業務を行います。	2,543	0	拡充	現状維持
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					22,827	0	拡充	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	66	頁	
	施策	3 文化振興			取組	2 郷土の伝統文化の継承						
事業名		文化財保護事業				SDGs	4、17					
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係										
目的	誰を・何を(対象)	文化財及び伝統文化										
	どのようにしたいか(意図)	・国・県・町指定文化財や郷土の伝統文化の保存継承活動を支援し、後世に伝えます。 ・町内に残る文化財を多くの方々に知ってもらい、文化財の保護へつなげます。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		1,836			2,556 139%			5,557 217%				
財源内訳	国・県支出金	10			17 170%			17 100%				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	1,826			2,539 139%			5,540 218%				
職員数(人)		0.74			0.74 100%			0.72 97%				
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		0			0			0				
指標②		0			0			0				
主な事業内容		①文化財補助金の交付 ②文化財説明板等の修繕等 ③文化財保護審議会の開催										
成果		①新型コロナウイルス感染症の影響により地域の祭礼が中止となり、補助事業が中止になった保存団体がありましたが、工夫して事業を実施した保存団体もあり、継承への取組が続けられています。 ・東浦町文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、指定文化財の所有者や保存団体等へ補助金を交付しました。4団体160,000円 ②定期的に修繕することにより、文化財等そのものがある場所で周知し、身近にある文化財に触れることができました。 ・5基修繕(合計60基設置)。 ③会議を開催し、文化財の保存等について意見をいただくことができました。 ・年2回開催										
課題		①祭礼の中止により活動が中断し、祭礼の継承が難しくなっています。また、地域の伝統文化に対して関心が低くなり、伝統文化の担い手が少なくなっています。 ②説明板は文章による説明が中心で写真等がないため、理解するのが難しいものもあります。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休止を検討 B
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
		○				○				○		
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充											①町内各地域の伝統文化の保存会が集まって情報交換する機会を設けたり、活動を紹介して支援していきます。 ②学校と連携し、地域の文化財を紹介するPR動画の制作を計画します。将来的には町のホームページへの掲載や、現地にある文化財説明板にQRコードを掲示し、動画による説明を追加していく予定です。
	現状維持				○							
	縮小											
	休止											
		若減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 3 年度)

事業名		文化財保護事業			担当課		生涯学習課 文化財係	
No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	文化財保護審議会事業	文化財保護審議会委員	町指定文化財の指定等を審議してもらうことで	町内の文化財を保護します。	65	140	現状維持	現状維持
2	文化財保護事業	住民	文化財説明板等を設置して	東浦町の歴史や文化財等を知ってもらいます。	2,331	5,217	現状維持	現状維持
3	文化財補助事業	指定文化財の所有者・保存団体等	補助金を交付して	指定文化財の保存・継承を図ります。	160	200	現状維持	現状維持
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					2,556	5,557	現状維持	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁
	施策	3 文化振興	取組	1 郷土の歴史・文化財の保存・活用			

事業名		天白遺跡事業						SDGs		4、17		
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係										
目的	誰を・何を(対象)	天白遺跡										
	どのようにしたいか(意図)	天白遺跡の発掘調査により大規模な遺跡があったことが明らかになったため、天白遺跡ひろばを整備し、古くから人々の暮らしが営まれた歴史あるまちであることを紹介します。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)				
		990			20,248 2045%			0 0%				
財源内訳	国・県支出金	0			5,100 0			0 0%				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	990			15,148 1530%			0 0%				
職員数(人)		0.22			0.22 100%			0.00 0%				
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		-										
				0			0			0		
指標②		-										
				0			0			0		
主な事業内容		土地区画整理事業地内に遺跡を紹介する天白遺跡ひろばの整備工事を実施しました。										
成果		調査で見つかった遺構を盛土して保存し、見つかった竪穴建物等の遺構をカラー舗装により時代別に実物大で表示して整備することで、古くから人々の暮らしが営まれた歴史あるまちであることがわかりやすく紹介することができました。										
課題		天白遺跡ひろばの整備は完了しましたが、ひろばを広く周知し、現地へ足を運んでもらえるような取組が必要です。										
評価視点										総合評価		
必要性				有効性				効率性				
		○				○				○	D	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い		高い
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充				天白遺跡ひろばの整備工事が完了したため、本事業は廃止となります。令和4年度からは文化財保護事業の1つとして遺跡ひろばのPRを図っていきます。							
	現状維持											
	縮小											
	休廃止	○										
				皆減	縮小	現状維持	拡大					
				コスト投入の方向性								

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	66	頁	
	施策	3 文化振興			取組	1 郷土の歴史・文化財の保存・活用						
事業名		郷土資料館事業				SDGs	4, 17					
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係										
目的	誰を・何を(対象)	住民										
	どのようにしたいか(意図)	・郷土の歴史や文化財の情報発信・学習機会を提供し、東浦の歴史や文化財への関心や親しみを高め、郷土に対する愛着を持ってもらうきっかけとします。 ・ガイドボランティアを育成し、郷土の魅力を伝えます。										
事業費(千円)	2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額		対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額		対前年比(%)			
	4,169		5,674		136%		3,775		67%			
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	0				
	受益者負担	233	314	135%	768	245%						
	その他特定財源	0	0	0	0	0						
財源内訳	一般財源	3,936	5,360	136%	3,007	56%						
	職員数(人)	0.80	0.80	100%	0.80	100%						
	主な事業実績(評価指標)	2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①	郷土資料館で実施する講座・教室の定員に対する受講率									%		
	83	75	111%	96	75	128%	81	75	108%			
指標②	-											
			0			0			0			
主な事業内容		①企画展の開催 ②東浦ふるさとガイド協会の育成支援のためのガイドボランティア養成講座の開催 ③東浦の歴史や文化財に関する講座や陶芸教室の開催										
成果		①春と秋の企画展に加え、ミニ企画展を開催し、郷土の歴史の情報発信を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響が少し落ち着いた点もあるのか、来館者数に戻りが見えました。 ・春の企画展:「人の一生ー人生の節を刻むー」、入館者数2,631人 ・秋の企画展:「天白遺跡ー知多半島最大の集落に生きた人々ー」、入館者数5,066人 ・ミニ企画展3回開催 ②新型コロナウイルス感染防止のため、回数及び定員を減らしての開催となりました。 ・ガイドボランティア養成講座:1講座4回、受講者数18人 ・東浦ふるさとガイド協会の会員数:35人(新規会員数1名) ③新型コロナウイルス感染防止のため中止になった講座の時期を変更するなど工夫して開催し、郷土の歴史についての学習機会を提供できました。 ・歴史関係講座:6講座94人、陶芸関係講座:5講座32人										
課題		①資料館の認知度が低く、企画展の情報も十分に周知できていません。 ②ガイドボランティアの新規会員が減少傾向にあるとともに、会員の高齢化が進んでいます。										
評価視点											総合評価	
必要性			有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	A
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充					①多くの人に企画展へ来館してもらえるよう、効果的な宣伝や興味・関心を持ってもらえる展示内容を考えていきます。						
	現状維持			○		②ガイドボランティアの活動に興味を持ってもらえるよう、ガイドボランティアと協力して、活動内容の紹介等を行います。						
	縮小					①②とあわせて、全小学校への来館学習を働きかけ、学校との連携を進めて、来館者数の増加へつなげます。						
	休廃止											
		増減	縮小	現状維持	拡大							
コスト投入の方向性												

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 3 年度)

事業名	郷土資料館事業	担当課	生涯学習課 文化財係
-----	---------	-----	------------

No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	企画展開催事業	住民	収蔵資料等を活用し、企画展を開催して	東浦町の歴史や文化財への関心や親しみを高めてもらいます。	1,677	2,113	現状維持	現状維持
2	ガイドボランティア養成講座事業	ガイドボランティアになる意欲がある住民	講座を開催して	東浦ふるさとガイドボランティア協会の会員になってもらいます。	43	52	現状維持	現状維持
3	講座開催事業	住民	講座・教室を開催して	東浦町の歴史や文化財への関心や親しみを高めてもらいます。	541	833	現状維持	現状維持
4	郷土資料館関連事業	住民	パンフレットや図書を印刷し配布するとともに、収蔵資料等の保存活用を図る事業を行うこと	東浦町の歴史や文化財への関心や親しみを高めてもらいます。	3,413	777	現状維持	現状維持
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					5,674	3,775	現状維持	現状維持

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁																										
	施策	3 文化振興	取組	1 郷土の歴史・文化財の保存・活用																													
事業名		郷土資料館管理事業		SDGs	4, 17																												
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係																															
目的	誰を・何を(対象)	郷土資料館及び収蔵資料等																															
	どのようにしたいか(意図)	・設備等の保守や修繕等により適切に維持管理し長寿命化を図ります。 ・東浦の歴史を語る貴重な資料を適切に維持管理し、後世へ伝えます。																															
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額	2021(R3) 年度決算額	対前年比(%)	2022(R4) 年度予算額	対前年比(%)																											
		14,978	15,162	101%	64,731	427%																											
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0																											
	受益者負担	176	155	88%	211	136%																											
	その他特定財源	0	0	0	45,900	0																											
	一般財源	14,802	15,007	101%	18,620	124%																											
職員数(人)		0.55	0.55	100%	0.56	102%																											
主な事業実績 (評価指標)		2019(R1)		2020(R2)		2021(R3)		単位																									
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		実績値	目標値	達成率																						
指標①		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> </table>								0			0			0																	
		0			0			0																									
指標②		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> </table>								0			0			0																	
		0			0			0																									
主な事業内容		①施設の保守点検委託 ・10委託業務 ②施設の修繕・工事 ・空調機更新工事設計業務																															
成果		①施設の適正な維持管理を行い、利用者が安全に利用できる施設を保つことができました。 ②計画的に施設の修繕・工事を行うことができました。令和4年度の空調機更新工事に向けて設計を行いました。 ・空調機更新工事設計業務																															
課題		資料の保管場所が不足しており、新たな保管場所が必要です。																															
評価視点																																	
必要性				有効性				効率性																									
<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>低い</td> <td>やや低い</td> <td>やや高い</td> <td>高い</td> </tr> </table>							○	低い	やや低い	やや高い	高い	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>低い</td> <td>やや低い</td> <td>やや高い</td> <td>高い</td> </tr> </table>							○	低い	やや低い	やや高い	高い	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>低い</td> <td>やや低い</td> <td>やや高い</td> <td>高い</td> </tr> </table>					○	低い	やや低い	やや高い	高い
			○																														
低い	やや低い	やや高い	高い																														
			○																														
低い	やや低い	やや高い	高い																														
			○																														
低い	やや低い	やや高い	高い																														
A																																	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等																													
成果の方向性	拡充																																
	現状維持			○																													
	縮小																																
	休止																																
コスト投入の方向性				・資料の保管場所を増やせないか既存の保管場所の整理を行うなど場所・建物を検討します。 ・施設建設後23年経過しており、今後は大規模な修繕・工事が必要になることが想定されるため、より計画的に施設の更新を行い施設の長寿命化を図ります。令和4年度は空調機の更新工事を実施します。																													

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり					項	2 生涯学習			掲載	62	頁		
	施策	2 スポーツ振興					取組	1 子どもたちの体力向上 2 高齢者の運動による健康への意識醸成							
事業名		社会体育一般事業					SDGs	3, 17							
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係													
目的	誰を・何を(対象)	住民													
	どのようにしたいか(意図)	スポーツへの関心を高めます。													
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)							
		2,620			3,212 123%			7,415 231%							
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0							
	受益者負担	0			0 0			0 0							
	その他特定財源	0			0 0			0 0							
	一般財源	2,620			3,212 123%			7,415 231%							
職員数(人)		0.86			1.71 199%			1.35 79%							
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位				
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率					
指標①		東浦マラソン参加数									人				
		2,296	3,000	77%	-	3,000	0	-	3,000	0					
指標②		全国大会等出場者激励金交付件数									件				
		72	90	80%	22	90	24%	35	90	39%					
主な事業内容		①東浦マラソンの実施(12月第3日曜日、あいち健康の森公園メイン会場) ②スポーツ少年団駅伝大会の実施(於大公園) ③ランニングイベント(大府市、愛三工業と合同)の実施(7月中学生以上、3月小学生以下) ④全国大会等出場者に対する激励金交付事業の実施 ⑤スポーツ協会への補助金の交付 ⑥スポーツ少年団事務局の運営													
成果		コロナ禍で中止となる事業がありましたが、以下のとおり可能な限り実施し、スポーツ環境の充実を図ることができました。 ①参加者【R1:2,296人、R2:中止 R3:中止】 ②参加チーム、参加者【R1:42、205人、R2:中止、R3:中止】 ③【R1:7月10人、3月中止、R2:7月中止、3月中止、R3:7月13人、3月44人】 ④【R1:個人71人・団体1(72万円) R2:個人21人・団体1(12万円) R3:個人34人・団体1(28万円)】 ⑤スポーツ協会15部へ227万8千円(R2:200万4千円)の交付 ⑥スポーツ少年団12団へ18万円(1団15,000円)交付													
課題		・東浦マラソンでは参加者数が年々減少傾向にある他、運営事業費歳入の4分の1を占める企業等からの協賛金が減少しています。また、新たな感染症対策等実施のため、費用増額などの課題について検討する必要があります。 ・7月のランニングイベントは、参加者が定員の25名に達せず、大府市に定員を譲ったため、広報活動・申込方法を見直す必要があります。 ・スポーツ協会やスポーツ少年団の登録者数が減少しています。 ・学校における休日部活動の段階的な地域移行に伴い、受け入れ体制が必要です。													
評価視点								総合評価							
必要性				有効性				効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・廃止を検討			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	B			
		○				○				○					
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等											
成果の方向性	拡充							・東浦マラソンについて、参加者や協賛金の減少を見込みつつ、感染症対策に配慮した、大会運営のあり方を検討していきます。							
	現状維持				○			・ランニングイベントの参加者拡大のため、対象年齢層を見直す他、あいち電子・申請システムを活用して、申込及び業務の簡略化を図ります。							
	縮小							・スポーツ協会等関連団体について、登録者を増やすため広報紙、ホームページ等でより一層の活動の周知を図ります。							
	休止							・令和7年度までに、休日部活動の地域移行をスポーツ協会・少年団、総合型地域スポーツクラブ等と行政・学校が連携して取り組む体制づくりを行っていきます。							
		資源	縮小	現状維持	拡大										
		コスト投入の方向性													

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	62	頁
	施策	2 スポーツ振興			取組	1 子どもたちの体力向上 2 高齢者の運動による健康への意識醸成					
事業名		スポーツ推進委員事業				SDGs	3、17				
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係									
目的	誰を・何を(対象)	住民、スポーツ推進委員									
	どのようにしたいか(意図)	住民:スポーツ推進委員が指導するイベントに参加することで、健康意識、及び体力を向上させます。 スポーツ推進委員:スポーツに関する知識・経験を深め、研修会を行うなど、住民に広くスポーツを推進させます。									
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)			
		2,470			1,587 64%			2,584 163%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	0			0 0			0 0			
	その他特定財源	0			0 0			0 0			
	一般財源	2,470			1,587 64%			2,584 163%			
職員数(人)		0.40			0.80 200%			0.52 65%			
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		スポーツイベント参加者数									人
		300	380	79%	-	380	0	103	380	27%	
指標②		みんなでスポーツを楽しむ会 開催回数									回
		97	144	67%	77	144	53%	103	144	72%	
主な事業内容		・スポーツイベントの開催 (体育の日イベント、カローリング大会、ウォーキング大会) ・みんなでスポーツを楽しむ会の開催 (各地区でのスポーツ推進活動)									
成果		住民の健康増進の意識を高め、体力向上に寄与しました。 ・スポーツイベント開催回数:1回 (参加人数 ウォーキング大会:103名) ・みんなでスポーツを楽しむ会開催回数:103回 (開催回数内訳 卵ノ里小:24回、片葩小:32回、生路小:18回、藤江コミュニティセンター:29回)									
課題		・趣味や娯楽が多様化する中で、健康の保持増進に大きな効果があるスポーツに親しみを持ってもらう必要があります。 ・学校における休日部活動の段階的な地域移行に伴い、受け入れ体制が必要です。									
評価視点										総合評価	
必要性			有効性			効率性				B	
		○			○			○			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充					・広報紙やホームページ等だけではなく、ポスターやチラシ等を作成して、学校やサークル活動をしている方々へ、広報活動の幅を広げます。					
	現状維持			○		・住民のニーズを把握し、モルックなど新しいスポーツも取り入れながら、ニュースポーツ等の魅力を広め、活動を推進します。					
	縮小					・みんなでスポーツを楽しむ会について、スポーツ推進委員だよりを回覧等で周知し、参加者拡大に努めます。					
	休止					・令和7年度までに、休日部活動の地域移行をスポーツ推進委員、スポーツ協会等と行政・学校が連携して取り組む体制づくりを行っていきます。					
		皆減	縮小	現状維持	拡大	・他課が実施しているウォーキングイベントとの共催を検討します。					
		コスト投入の方向性									

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり				項	2 生涯学習			掲載	62	頁		
	施策	2 スポーツ振興				取組	1 子どもたちの体力向上 2 高齢者の運動による健康への意識醸成							
事業名		生涯スポーツ振興事業					SDGs		3, 17					
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係												
目的	誰を・何を(対象)	住民、スポーツ団体、スポーツ指導者												
	どのようにしたいか(意図)	運動の機会を増やし、体力を向上させるとともに、運動による健康増進への意識を高めます。												
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額			対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額			対前年比(%)	
		558			1,731			310%		2,189			126%	
財源内訳	国・県支出金	0			0			0		0			0	
	受益者負担	0			415			0		630			152%	
	その他特定財源	0			0			0		0			0	
	一般財源	558			1,316			236%		1,559			118%	
職員数(人)		0.25			0.49			196%		0.94			192%	
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位			
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率				
指標①		スポーツ教室への受講者数									人			
		201	280	72%	-	280	0	171	280	61%				
指標②		スポーツ指導者養成講習会への延べ参加者数									人			
		167	180	93%	100	180	56%	73	180	41%				
主な事業内容		・住民向けのスポーツ教室の実施 ・児童の体力向上プロジェクトの実施 ・高齢者向けの体力測定(てんとう虫テスト)の実施 ・小中学校運動部活動に対する外部指導者派遣の実施 ・スポーツ指導者向けの講習会の実施												
成果		・高齢者向けの体力測定(てんとう虫テスト)を実施することで、参加者へ介護予防に対する意識付けを行いました。(実施回数1回) ・町内小学校の運動部活動に対して外部指導者18名を派遣することで、部員に対し専門的な指導ができ、学校部活動を充実することができました。また、派遣先小中学校の教員の負担軽減につながることができました。 ・スポーツ指導者養成講習会を実施することで、地域スポーツの指導者の素養を育むことができました(全6回のうち新型コロナウイルス感染予防のため2回中止)												
課題		・スポーツ教室(大人向け)について、参加人数が少ないこと、年によっては健康増進事業などで実施している内容と重複しています。 ・てんとう虫テストは、運動習慣のある者に実施しているため、運動習慣のない者にも幅広く実施するなどの見直しが必要です。 ・学校における休日部活動の段階的な地域移行に伴い、受け入れ体制が必要です。												
評価視点										総合評価				
必要性				有効性				効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休止を検討		
	○				○			○						
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い			
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等										
成果の方向性	拡充				・健康増進事業の担当課である健康課を始め、各事業の担当課と連携して、教室の運営方法等を検討します。なお、高齢者向け体力テスト(てんとう虫テスト)については、事業を実施する意義、効果が不明瞭であるとの評価であるため、検証可能な内容とする新たな事業に見直します。 ・令和7年度までに、地域活動団体の把握やスポーツ指導者人材バンク登録強化し、受け入れ体制の確保に努めます。また、行政・学校が連携して取り組む体制づくりを行っていきます。									
	現状維持		○											
	縮小													
	休止													
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性								

令和 4 年度 細事業評価シート (評価対象年度: 令和 3 年度)

事業名		生涯スポーツ振興事業			担当課		スポーツ課 スポーツ係	
No.	細事業名	概要			2021(R3) 年度 決算額 (千円)	2022(R4) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	スポーツ教室事業	スポーツ団体・スポーツ指導者	イベント等の開催・子ども向けのスポーツ支援をすることで	スポーツを始めるきっかけづくりや健康への意識醸成、子どもの体力向上を図ります。	1,275	1,342	縮小	縮小
2	児童の体力向上プロジェクト事業	住民	イベント等の開催・子ども向けのスポーツ支援をすることで	スポーツを始めるきっかけづくりや健康への意識醸成、子どもの体力向上を図ります。	81	97	現状維持	現状維持
3	てんとう虫テスト事業	住民	事業を実施することで	脚力低下や、歩行安全性を実感し、寝たきりの原因となる転倒予防を図ります。	0	0	縮小	縮小
4	学校部活動外部指導者派遣事業	スポーツ団体・スポーツ指導者	スポーツ指導者の派遣をすることで	スポーツ活動に参加しやすい環境の充実を図ります。	312	610	拡充	拡大
5	スポーツ指導者養成事業	スポーツ団体・スポーツ指導者	スポーツ指導者の育成をすることで	スポーツ活動に参加しやすい環境の充実を図ります。	63	140	拡充	拡大
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					1,731	2,189	現状維持	縮小

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	62	頁
	施策	2 スポーツ振興			取組	4 スポーツ施設の整備					
事業名		体育館・はなのき会館管理事業					SDGs	11、17			
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係									
目的	誰を・何を(対象)	体育館、はなのき会館									
	どのようにしたいか(意図)	利用者が満足できるスポーツ環境の確保に向けて、利用受付や維持管理を行います。									
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額			2021(R3) 年度決算額 対前年比(%)			2022(R4) 年度予算額 対前年比(%)			
		30,633			27,623 90%			61,239 222%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	2,936			2,366 81%			3,100 131%			
	その他特定財源	104			323 311%			311 96%			
	一般財源	27,593			24,934 90%			57,828 232%			
職員数(人)		0.16			0.16 100%			0.29 181%			
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		体育館・はなのき会館延べ利用者数									人
		72,099	77,000	94%	48,658	72,000	68%	49,221	72,000	68%	
指標②		-									
				0			0			0	
主な事業内容		施設を安全・快適に利用できるよう、体育館及びはなのき会館の利用受付と維持管理を行います。									
成果		【R3.8/27～R3.9/30緊急事態宣言発令、R3.10/1～R3.10/23体育館LED化工事、R4.1/21～R4.3/21まん延防止等重点措置発令のため閉館。また、R3.5/12～R3.6/20、及びR3.8/21～R3.8/26は利用時間を短縮】 利用件数及び利用者数 体育館 R1:4,803件/65,654人 R2:4,210件/46,734人 R3:3,719件/47,050人 はなのき会館 R1:333件/6,445人 R2:170件/1,924人 R3:219件/2,171人 施設の維持・管理(修繕)件数 防火シャッター修繕始め8件 施設の維持・管理(業務委託)件数 電気施設保守点検業務始め7件 平時の保守点検・清掃や修繕により、利用者が安全・快適に使用できる状態を保持できました。									
課題		・施設、附属設備の老朽化が進んでいるため、計画的な改修が必要ですが、施設の改修・更新には多額の費用がかかります。 ・多様化、高度化する住民ニーズに対し、効果的・効率的な対応が求められています。 ・平日日中の利用割合が低い傾向にあります。									
評価視点								総合評価			
必要性		有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討			
			○		○		○	B			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い				
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充					・町公共施設個別施設計画に沿って、計画的な施設改修や設備の更新を行います。また、各種助成金制度を活用するなど財源の確保に努めるとともに、近隣市町と比較しながら、使用料の見直しについて検討します。 ・民間の能力やノウハウを最大限に活用し、住民サービスの向上と施設運営を図るとともに、経費の削減が見込まれる指定管理者制度等の検討が必要です。 ・低稼働時間帯の利用方法について、先進事例を研究し、営利団体の利用も検討していきます。					
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大						
		コスト投入の方向性									

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 3 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	62	頁																				
	施策	2 スポーツ振興			取組	3 スポーツ活動団体の育成																									
事業名		学校体育施設スポーツ開放事業				SDGs		3、17																							
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係																													
目的	誰を・何を(対象)	住民																													
	どのようにしたいか(意図)	住民が身近でスポーツに親しみ、交流する場を提供します。																													
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額		対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額		対前年比(%)																					
		1,110		645		58%		651		101%																					
財源内訳	国・県支出金	0		0		0		0		0																					
	受益者負担	1,034		645		62%		651		101%																					
	その他特定財源	0		0		0		0		0																					
	一般財源	76		0		0%		0		0																					
職員数(人)		0.10		0.19		190%		0.23		121%																					
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位																				
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率																					
指標①		学校開放登録団体数									団体																				
		95	100	95%	104	100	104%	97	100	97%																					
指標②		-																													
				0			0			0																					
主な事業内容		町内の各小中学校の体育館や運動場を学校教育の運営に支障のない範囲内で、住民が利用できるように開放しています。																													
成果		【R3.8/27～R3.9/30、R4.2/4～R4.3/21新型コロナウイルス感染拡大防止のため開放中止。R3.5/12～R3.6/20、R3.8/21～R3.8/26夜間開放中止。】 既存団体を含め、空き状況を周知し新規登録団体の増加に努めました。開放を中止していた期間があるため、利用回数及び利用者数ともに令和元年度と比較して減少していますが、一回あたりの利用人数に大きな変化はありません。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>団体数(団体)</th> <th>利用回数(回)</th> <th>延べ利用者数(人)</th> <th>登録者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>95</td> <td>4,366</td> <td>83,155</td> <td>3,570</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>104</td> <td>2,963</td> <td>58,184</td> <td>3,325</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>97</td> <td>3,307</td> <td>65,599</td> <td>3,483</td> </tr> </tbody> </table>											団体数(団体)	利用回数(回)	延べ利用者数(人)	登録者数(人)	R1	95	4,366	83,155	3,570	R2	104	2,963	58,184	3,325	R3	97	3,307	65,599	3,483
	団体数(団体)	利用回数(回)	延べ利用者数(人)	登録者数(人)																											
R1	95	4,366	83,155	3,570																											
R2	104	2,963	58,184	3,325																											
R3	97	3,307	65,599	3,483																											
課題		・延べ90以上の団体及び21の体育館、運動場等の施設・備品管理や、利用登録・中止などの事務処理が煩雑になっています。 ・学校における休日部活動の段階的な地域移行に伴い、受け入れ体制が必要です。現在の学校開放団体が利用できなくなる場合があるため、活動場所の見直しが必要です。																													
評価視点										総合評価																					
必要性				有効性				効率性																							
低い やや低い やや高い 高い				低い やや低い やや高い 高い				低い やや低い やや高い 高い																							
○				○				○																							
B																															
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等																											
成果の方向性	拡充										・年度途中にも利用受付募集を行うなど、利用団体数の増加に努めます。 ・広報紙、ホームページ等を活用し、より多くの利用者に情報を広く周知します。 ・学校や学校教育課と連携し、効果的・効率的な管理体制を強化します。 また、令和4年度中に施設管理を紙台帳から電子システムに改め事務の効率化を図ります。 ・利用登録申請や利用報告などの手続きを電子申請システムに改めるなど、利用者の負担や事務処理時間の軽減を図ります。 ・令和7年度までに、休日部活動の地域移行をスポーツ関係団体等と行政・学校が連携して取り組む体制づくり、活動場所の確保を行っていきます。																				
	現状維持			○																											
	縮小																														
	休止																														
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性																									

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	62	頁	
	施策	2 スポーツ振興			取組	4 スポーツ施設の整備						
事業名		グラウンド・コート管理事業				SDGs	11、17					
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係										
目的	誰を・何を(対象)	グラウンド、コート										
	どのようにしたいか(意図)	住民が満足できるスポーツ環境の確保に向けて、維持管理を行います。										
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額		対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額		対前年比(%)		
		17,623		44,225		251%		20,809		47%		
財源内訳	国・県支出金	0		1,188		0		0		0%		
	受益者負担	7,223		6,945		96%		7,900		114%		
	その他特定財源	60		13,323		22205%		740		6%		
	一般財源	10,340		22,769		220%		12,169		53%		
職員数(人)		0.14		0.14		100%		0.18		129%		
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		グラウンド・コート延べ利用者数									人	
		107,339	136,200	79%	87,495	136,200	64%	109,281	136,200	80%		
指標②		-										
				0			0			0		
主な事業内容		町内に設置している以下の体育施設の維持管理を行います。 《管理施設》 町営第1グラウンド、町営第2グラウンド、南部グラウンド、北部グラウンド、西部グラウンド、文化広場テニスコート、岡田川テニス場、東浦みどり浜緑地多目的広場										
成果		【R3.8/27～R3.9/30の緊急事態宣言発令中は利用中止、R4.1/21～R4.3/21のまん延防止等重点措置発令中は利用時間を短縮】 利用件数、及び利用者数 グラウンド R1:1,952件/67,908人 R2:1,782件/58,365人 R3:1,979件/69,343人 テニスコート R1:5,328件/39,431人 R2:4,850件/29,130人 R3:6,036件/39,938人 施設の維持・管理(修繕)件数 第1・2グラウンド野外トイレ修繕始め14件 施設の維持・管理(業務委託)件数 浄化槽維持管理業務始め6件 平時の保守点検・清掃や修繕により、利用者が安心・快適に使用できる状態を保持できました。										
課題		・各施設において建物、附属設備の老朽化が進んでいます。また、施設の修繕・更新には多額の費用がかかります。これに伴って使用料の見直しが必要です。 ・町スポーツ協会の加入者数の減少や少子化の影響等で施設利用者が減少しています。										
評価視点								総合評価				
必要性				有効性				効率性				
低い やや低い やや高い 高い				低い やや低い やや高い 高い				低い やや低い やや高い 高い				
○				○				○				
B												
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充											
	現状維持				○							
	縮小											
	休廃止											
コスト投入の方向性				・各種助成金制度を活用するなど財源の確保し、計画的な施設改修や設備の更新を行います。また近隣市町と比較しながら、使用料の見直しについて検討します。 ・町とスポーツ協会やスポーツ少年団等がグラウンド等の草刈りや清掃を行うことで、行政と協働で施設管理をすることができ始めているため、今後も取り組んでいきます。								

令和 4 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 3 年度)

区分 ハード

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	62	頁
	施策	2 スポーツ振興			取組	4 スポーツ施設の整備					
事業名		ふれあいセンター管理運営事業				SDGs		11、17			
担当課		教育部 スポーツ課 スポーツ係									
目的	誰を・何を(対象)	ふれあいセンター									
	どのようにしたいか(意図)	利用者が満足できるスポーツ環境の確保に向けて、利用受付や維持管理を行います。									
事業費(千円)		2020(R2) 年度決算額		2021(R3) 年度決算額		対前年比(%)		2022(R4) 年度予算額		対前年比(%)	
		45,118		37,667		83%		33,324		88%	
財源内訳	国・県支出金	0		0		0		0		0	
	受益者負担	1,978		2,131		108%		2,500		117%	
	その他特定財源	48		627		1306%		607		97%	
	一般財源	43,092		34,909		81%		30,217		87%	
職員数(人)		0.11		0.11		100%		0.12		109%	
主な事業実績(評価指標)		2019(R1)			2020(R2)			2021(R3)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		ふれあいセンター延べ利用者数									人
		82,049	83,000	99%	44,514	83,000	54%	52,213	83,000	63%	
指標②		-									
				0			0			0	
主な事業内容		施設を安全・快適に利用できるよう、北部・西部ふれあいセンター、藤江コミュニティセンターの利用受付や維持管理を行います。									
成果		【R3.8/27～R3.9/30の緊急事態宣言の発令中は利用中止、R4.1/21～R4.3/21のまん延防止等重点措置の発令中は利用時間を短縮】 利用件数及び利用者数 北部 R1:2,010件/28,412人 R2:1,028件/14,702人 R3:1,283件/18,934人 西部 R1:1,805件/26,121人 R2:1,348件/13,479人 R3:1,113件/15,319人 藤江 R1:1,740件/27,516人 R2:1,191件/16,333人 R3:1,247件/17,960人 施設の維持・管理(修繕)件数 藤江コミュニティセンター排煙修繕始め21件 施設の維持・管理(業務委託)件数 電気設備保守点検始め8件 平時の保守点検・清掃や修繕により、利用者が安心・快適に使用できる状態を保持できました。また、藤江コミュニティセンターでは、空調機取替工事を行うことで、利用者の快適な利用が可能となりました。									
課題		・施設や設備の老朽化が進んでいます。また、施設の改修・更新には多額の費用がかかります。これに伴って使用料の見直しが必要です。 ・多様化、高度化する住民ニーズに対し、効果的・効率的な対応が求められています。									
評価視点										総合評価	
必要性				有効性				効率性			
			○			○			○		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性										事業の改善点・今後の具体的な取組等	
成果の方向性	拡充									・町公共施設個別施設計画に沿って、計画的な施設改修や設備の更新を行います。また、各種助成金制度を活用するなど財源の確保に努めるとともに、近隣市町と比較しながら、使用料の見直しについて検討します。 ・民間の能力やノウハウを最大限に活用し、住民サービスの向上と施設運営を図るとともに、経費の削減が見込まれる指定管理者制度等の検討が必要です。	
	現状維持				○						
	縮小										
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性					

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会（令和3年度在籍）

職 名	氏 名	備 考
教 育 長	恒 川 渉	9月30日まで
教 育 長	庄 子 亨	10月1日から
委 員	野 田 雅 代	9月30日まで (9月30日まで職務代理者)
委 員	杉 浦 政 代	10月1日から職務代理者
委 員	水 野 善 久	
委 員	浅 田 謙 司	
委 員	中 村 希代美	10月1日から

(敬称略)

(2) 教育委員会の開催状況

定例会	12回
臨時会	1回
議案	39件
承認	38件
報告事項	24件

(3) 総合教育会議の開催

令和4年1月28日（金）

「いじめ・不登校児童生徒の現状と課題について」

(4) 教育委員会委員及び教育長の主な活動

委員研修会	新型コロナウイルスのため中止		
知多地方教育事務協議会	5回	参加人数	延べ 9人
	※書面開催を含む。		
入学式・卒業式		参加人数	延べ 10人
学校訪問	10校	参加人数	延べ 20人
その他各種行事等	58回	参加人数	延べ 72人

(5) 委員会活動の情報発信

東浦町のホームページで定例会の議題等、教育委員会事務局及び学校の概要を掲載している。

第2章 教育委員会事務点検・評価意見聴取会での意見

この報告書は、教育委員会の事業ごとにその取組状況を検証し、点検・評価を実施した結果をまとめたものである。

点検・評価表をもとに、学識経験者からは以下のとおり意見をいただいた。

毎年作成されているこの報告書については、今回よくまとまっている。作成の際には前年度の報告書と比較をし、ずれや誤解のないようにしていただきたい。

本報告書は、公表して住民の方々に教育委員会の事業を知ってもらうことが大きな趣旨であると思うが、当然のことながら事業を進めるに当たって担当者が現状把握することにも役立つと思う。資料を作成することのみを目的とせず、事業に有効活用できるようにしていくべきである。そういった意味でも、極力担当者による資料作成が負担とならないようにすべきであり、本報告書を見る限り、それは実現できていると思われる。

教育委員会事務点検・評価会議での意見聴取

学識経験者 梶山 博史、深谷 和義

東浦町教育委員会事務局

〒470-2192 愛知県知多郡東浦町大字緒川字政所 20 番地

TEL : 0562-83-3111 (学校教育課)

FAX : 0562-83-8180

Mail : gakko@town.aichi-higashiura.lg.jp